

第四十五回 帝國議會  
衆議院 刑事訴訟法案委員會議錄（筆記）第一回

委員會成立  
本委員ハ大正十一年二月七日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通  
り選定セラレタリ

鶴澤 総明君 前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 北井波治目君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 前田 米藏君  
禱 苗代君 祇 苗代君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
禱 苗代君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
禱 苗代君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 永屋 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
禱 苗代君 原 夫次郎君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 永屋 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
禱 苗代君 原 夫次郎君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

前田 米藏君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
宮古啓三郎君 嘉藤君 嘉藤君 宮古啓三郎君 黒住 成章君 鈴木富士彌君 理事  
大道寺慶男君 大道寺慶男君 齋藤鶯太郎君 豊光君 重一君 横山金太郎君 前田 米藏君  
北井波治目君 永屋 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
禱 苗代君 原 夫次郎君 高見 之通君 高見 之通君 鈴木富士彌君 理事  
永井 作次君 野副 重一君 横山金太郎君 横山金太郎君 前田 米藏君  
作間 耕逸君 野村 嘉六君 井坂 豊光君 井坂 豊光君 嘉藤君  
山移 定政君 森田 茂君 磯田 釜三郎君 磯田 釜三郎君 離居者  
清瀬 一郎君 上島益三郎君 森下龜太郎君 森下龜太郎君 齋藤鶯太郎君  
同月八日前十時三十分 委員長理事互選ノ爲各委員  
參集ス其ノ氏名左ノ如シ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法案

司法省刑事局長

司法省監獄局長

司法省參事官

司法事務官

山内確三郎君

林 賴三郎君

山岡萬之助君

上塙安太郎君

秋山高三郎君

宮城長五郎君

高見 之通君

米藏君

黒住 成章君

鈴木富士彌君

理事

テ、其意見ヲ微シタ次第アリマス、尙ホ引續キ審議中、明治三十六年四月ニ法典調査會ト云フ制度ガ再び廢セラリ、ニ至リマシタ、其爲ニ改正事業ト云フモノハ、一時中絶シタノアリマス、此際ニハ破産法、民事訴訟法、刑事訴訟法ト云フヤウナ大法典ガ、法典調査會ノ案トシテ社會ニ公示セラレマシタ儘ニナツテ居リマシタ、ソレカラ明治三十二年明治四十一年ニ於キマシテ、法典ノ成立ヲ待ツ追ナク、刑事訴訟法ニハ一部ノ改正ヲ加ヘテ、而シテゾレア間ニ合セテ居タ、併ナガラ其改正ハ、法律ノ大綱ニ關スルモノデハナリ、然ルニ其後御承知ノ通リニ、現行刑法、監獄法、是ガ出来上ツタノデ、其結果ハ愈、刑事訴訟法ノ改正ハ全典ニ通じテ之ヲ爲サナケレバナラヌ、其必要ガ極メテ緊切アリマシタカラ此ニ於テ明治四十一年ニ法律取調委員會上云フナル會が出來マシテ、其會ノ議ニ刑事訴訟法ノ審查ヲ託ンタ次第アリマスデ法律取調委員會ハ、茲ア主査委員ノ設ケマシテ、銳意調査立案ニ從事致シマシテ、大正二年十月ニ一タビ其稿ハヘタ、其當時ノ司法大臣ハ吾々ノ尊敬シテ居ル所ノ松田氏アリマシタ、併ナガラ是ハマダ總會ニ議セウカ

〔贊成「其事ニ願ヒマス」下呼フ者アリ〕

○鶴澤委員長 ソレデハ政府委員ノ說明ヲ求メマス

○鶴澤委員長 是ヨリ刑事訴訟法案ノ委員會ヲ開キマス、先づ政府委員ノ大體ノ説明ヲ承ルコトニシテハ如何デセウカ

○山内政府委員 御求ニ從ヒマシテ、私ヨリ大體ノ本案ヲ宣告ス

○前田委員ハ投票ヲ用キズ鶴澤總明君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ其數ヲ五名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○野副投票管理者ハ前田君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ鶴澤總明君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

○鶴澤總明君委員長席ニ著ク

○鶴澤委員長ハ熊谷直太君、磯田彌三郎君、鈴木富士彌君、清瀬一郎君及上島益三郎君ヲ理事ニ指名シ散會ヲ宣告ス

于時午前十時三十五分

出席委員左ノ如シ

大正十一年二月十日午前十時三十分開議

委員長 鶴澤 総明君

理事 熊谷 直太君

事務 磯田彌三郎君

第五類第八號 刑事訴訟法案委員會議錄（委員長及大正十一年三月八日） 第一回 大正十一年二月十日

案ノ此ニ成立スルニ至リマスル迄ノ沿革ハ、大要右申上ダ  
タ通リデアリマス、次ニ此案ノ要綱ニ付テ、大體ノ事ヲ申上  
ダマス、此法案ハ從前ト例ヲ異ニシマシテ、目録ガ附カナイ  
コトニアツテ居リマス、元ノ司法省案ニハ目録ガ附テ居リマ  
シタガ、法律ニ目録ト云フモノハ事由ガ無イト云フノデ、近  
來ハ法制局デ目録ヲ廢メルコトニナシテ、甚ダ見ルノニ不便  
デアリマスカラ、説明書ニハ「一ソ目録ヲ附ケテ差上ダゲタイト  
考ヘマス、ソレカラ目録デ大體申シマスト、第一編ハ總則、總  
則ハ十章ヨリ成ル譯デアリマス、其第一章ハ裁判所ノ管轄、  
第二章裁判所職員ノ除斥、忌避及回避、ソレカラ第三章  
ガ訴訟能力、第四章辯護及輔佐、第五章裁判、第六章書  
類、第七章送達、第八章期間、第九章被告人ノ召喚、勾引  
及勾留、第十章被告人訊問、第十一章押收及搜索、第十  
二章檢證、第十三章證人訊問、第十四章鑑定、第十五章  
通譯、第十六章訴訟費用、是ダケガ第一編ノ規定ニナシテ  
居ル、即チ總則ノ規定デアリマス、第二編ハ第一審ノ刑事  
訴訟手續ノ事アリマシテ、是ハ四章ニ分レテ居ル、第一章  
捜査、第二章公訴、第三章豫審、第四章公判、是ガ四段ノ  
手續ニナル、ソコデ第四章ニ依テ之ヲ節ニ分チマシテ、第一  
節公判準備、第二節公判手續、第三節公判ノ裁判、即チ  
準備ト公判ト裁判、此三ツニ分レテ居ル、其次ニ第三編トシ  
テ、上訴トシテ是ガ更ニ四章ニ分レテ、第一章通則、第二章  
控訴、第三章上告、第四章抗告、是ダケデアリマス、第四編  
ハ大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續、是ハ裁判所構成  
法ニ規定シテアルコトデアリマス、其手續ハ第四編ニ掲ゲテ  
アリマス、第五編再審、第六編非常上告、第七編が今日ハ  
別ノ法律デアリマスガ、略式手續、第八編裁判ノ執行、是ダ  
ケガ詰リ公訴ニ關スル所ノ大體ノ目録デアリマス、其次ニ第  
九編トシテ、私訴ニ關スル規定デアリマス、即チ之ヲ分チテ三  
章トシテ、第一章通則、第二章第一審、第三章上訴、即チ  
是ダケノ事カ刑事訴訟法案ニ規定シテ居ル、内容ニ付テノ  
目次トナルノデアリマス、ソコデ此案ト現行法ト比較シテ大  
體觀察致シマスルニ、現行法ハ裁判所ト題スル一編ヲ置キ  
マシテ、裁判所ト題スル編ノ中ニ管轄、除斥、忌避、回避、斯  
ウ云フ章ヲ置イテ居リマス、本案ハ第二編即チ第一審手續中  
一部トシテ是等ノ規定シテ居ル、其次ニハ現行法ハ、  
犯罪ノ捜査起訴及豫審ヲ併セテ之ヲ獨立ノ一編ニ規定  
致シテ居ルノデアリマス、本案ハ第二編即チ第一審手續中  
管轄、除斥、忌避、回避ト云フ規定ヲ各總則中ノ一章トシ  
テ別ニ規定シテ居ル、是ガ一ツ、ソレカラ其次ニハ現行法ハ、  
豫審ト云フ章ヲ設ケマシテ、ソコニ被告人ノ召喚、勾引、勾留  
ニ關スル規定ガアル、ソレカラ被告人ノ訊問ニ關スル規定ガ  
定メテアル、證據集取ニ關スル規定、即チ本案ノ被告人ノ

召喚、勾引、勾留、被告人訊問、押收搜索、檢證、證人訊  
問、鑑定斯ウ云フ規定ガ、此ニ網羅サレテ居リマスガ、併ナ  
ガラ是等ノ手續ハ必ズシモ豫審手續ノミニ固有ノモノデハ  
コトニアツテ居リマス、元ノ司法省案ニハ目録ガ附テ居リマ  
シタガ、法律ニ目録ト云フモノハ事由ガ無イト云フノデ、近  
來ハ法制局デ目録ヲ廢メルコトニナシテ、甚ダ見ルノニ不便  
デアリマスカラ、説明書ニハ「一ソ目録ヲ附ケテ差上ダゲタイト  
考ヘマス、ソレカラ目録デ大體申シマスト、第一編ハ總則、總  
則ハ十章ヨリ成ル譯デアリマス、其第一章ハ裁判所ノ管轄、  
第二章裁判所職員ノ除斥、忌避及回避、ソレカラ第三章  
ガ訴訟能力、第四章辯護及輔佐、第五章裁判、第六章書  
類、第七章送達、第八章期間、第九章被告人ノ召喚、勾引  
及勾留、第十章被告人訊問、第十一章押收及搜索、第十  
二章檢證、第十三章證人訊問、第十四章鑑定、第十五章  
通譯、第十六章訴訟費用、是ダケガ第一編ノ規定ニナシテ  
居ル、即チ總則ノ規定デアリマス、第二編ハ第一審ノ刑事  
訴訟手續ノ事アリマシテ、是ハ四章ニ分レテ居ル、第一章  
捜査、第二章公訴、第三章豫審、第四章公判、是ガ四段ノ  
手續ニナル、ソコデ第四章ニ依テ之ヲ節ニ分チマシテ、第一  
節公判準備、第二節公判手續、第三節公判ノ裁判、即チ  
準備ト公判ト裁判、此三ツニ分レテ居ル、其次ニ第三編トシ  
テ、上訴トシテ是ガ更ニ四章ニ分レテ、第一章通則、第二章  
控訴、第三章上告、第四章抗告、是ダケデアリマス、第四編  
ハ大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續、是ハ裁判所構成  
法ニ規定シテアルコトデアリマス、其手續ハ第四編ニ掲ゲテ  
アリマス、第五編再審、第六編非常上告、第七編が今日ハ  
別ノ法律デアリマスガ、略式手續、第八編裁判ノ執行、是ダ  
ケガ詰リ公訴ニ關スル所ノ大體ノ目録デアリマス、其次ニ第  
九編トシテ、私訴ニ關スル規定デアリマス、即チ之ヲ分チテ三  
章トシテ、第一章通則、第二章第一審、第三章上訴、即チ  
是ダケノ事カ刑事訴訟法案ニ規定シテ居リマスガ、本件ハ  
ソコニ被告人ノ訊問ニ關スル規定ガアル、ソレカラ被告人  
ノ訊問ニ關スル規定ガアル、是ダケガ既に別途規定有  
る事アリマス、斯ウ云フ編ヲ置カズシテ

ヒマシテ、之ニ適應ヘベク幾多ノ改正ヲ加ヘタモノガアル、其  
ダマス、此法案ハ從前ト例ヲ異ニシマシテ、目録ガ附カナイ  
コトニアツテ居リマス、元ノ司法省案ニハ目録ガ附テ居リマ  
シタガ、法律ニ目録ト云フモノハ事由ガ無イト云フノデ、近  
來ハ法制局デ目録ヲ廢メルコトニナシテ、甚ダ見ルノニ不便  
デアリマスカラ、説明書ニハ「一ソ目録ヲ附ケテ差上ダゲタイト  
考ヘマス、ソレカラ目録デ大體申シマスト、第一編ハ總則、總  
則ハ十章ヨリ成ル譯デアリマス、其第一章ハ裁判所ノ管轄、  
第二章裁判所職員ノ除斥、忌避及回避、ソレカラ第三章  
ガ訴訟能力、第四章辯護及輔佐、第五章裁判、第六章書  
類、第七章送達、第八章期間、第九章被告人ノ召喚、勾引  
及勾留、第十章被告人訊問、第十一章押收及搜索、第十  
二章檢證、第十三章證人訊問、第十四章鑑定、第十五章  
通譯、第十六章訴訟費用、是ダケガ第一編ノ規定ニナシテ  
居ル、即チ總則ノ規定デアリマス、第二編ハ第一審ノ刑事  
訴訟手續ノ事アリマシテ、是ハ四章ニ分レテ居ル、第一章  
捜査、第二章公訴、第三章豫審、第四章公判、是ガ四段ノ  
手續ニナル、ソコデ第四章ニ依テ之ヲ節ニ分チマシテ、第一  
節公判準備、第二節公判手續、第三節公判ノ裁判、即チ  
準備ト公判ト裁判、此三ツニ分レテ居ル、其次ニ第三編トシ  
テ、上訴トシテ是ガ更ニ四章ニ分レテ、第一章通則、第二章  
控訴、第三章上告、第四章抗告、是ダケデアリマス、第四編  
ハ大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續、是ハ裁判所構成  
法ニ規定シテアルコトデアリマス、其手續ハ第四編ニ掲ゲテ  
アリマス、第五編再審、第六編非常上告、第七編が今日ハ  
別ノ法律デアリマスガ、略式手續、第八編裁判ノ執行、是ダ  
ケガ詰リ公訴ニ關スル所ノ大體ノ目録デアリマス、其次ニ第  
九編トシテ、私訴ニ關スル規定デアリマス、即チ之ヲ分チテ三  
章トシテ、第一章通則、第二章第一審、第三章上訴、即チ  
是ダケノ事カ刑事訴訟法案ニ規定シテ居リマスガ、本件ハ  
ソコニ被告人ノ訊問ニ關スル規定ガアル、ソレカラ被告人  
ノ訊問ニ關スル規定ガアル、是ダケガ既に別途規定有  
る事アリマス、斯ウ云フ編ヲ置カズシテ

西ノ立法ニ鑑ミマシテ、其長ヲ採テ、且ツ時代ノ變遷ニ從  
ヒマシテ、之ニ適應ヘベク幾多ノ改正ヲ加ヘタモノガアル、其  
ダマス、此法案ハ從前ト例ヲ異ニシマシテ、目録ガ附カナイ  
コトニアツテ居リマス、元ノ司法省案ニハ目録ガ附テ居リマ  
シタガ、法律ニ目録ト云フモノハ事由ガ無イト云フノデ、近  
來ハ法制局デ目録ヲ廢メルコトニナシテ、甚ダ見ルノニ不便  
デアリマスカラ、説明書ニハ「一ソ目録ヲ附ケテ差上ダゲタイト  
考ヘマス、ソレカラ目録デ大體申シマスト、第一編ハ總則、總  
則ハ十章ヨリ成ル譯デアリマス、其第一章ハ裁判所ノ管轄、  
第二章裁判所職員ノ除斥、忌避及回避、ソレカラ第三章  
ガ訴訟能力、第四章辯護及輔佐、第五章裁判、第六章書  
類、第七章送達、第八章期間、第九章被告人ノ召喚、勾引  
及勾留、第十章被告人訊問、第十一章押收及搜索、第十  
二章檢證、第十三章證人訊問、第十四章鑑定、第十五章  
通譯、第十六章訴訟費用、是ダケガ第一編ノ規定ニナシテ  
居ル、即チ總則ノ規定デアリマス、第二編ハ第一審ノ刑事  
訴訟手續ノ事アリマシテ、是ハ四章ニ分レテ居ル、第一章  
捜査、第二章公訴、第三章豫審、第四章公判、是ガ四段ノ  
手續ニナル、ソコデ第四章ニ依テ之ヲ節ニ分チマシテ、第一  
節公判準備、第二節公判手續、第三節公判ノ裁判、即チ  
準備ト公判ト裁判、此三ツニ分レテ居ル、其次ニ第三編トシ  
テ、上訴トシテ是ガ更ニ四章ニ分レテ、第一章通則、第二章  
控訴、第三章上告、第四章抗告、是ダケデアリマス、第四編  
ハ大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續、是ハ裁判所構成  
法ニ規定シテアルコトデアリマス、其手續ハ第四編ニ掲ゲテ  
アリマス、第五編再審、第六編非常上告、第七編が今日ハ  
別ノ法律デアリマスガ、略式手續、第八編裁判ノ執行、是ダ  
ケガ詰リ公訴ニ關スル所ノ大體ノ目録デアリマス、其次ニ第  
九編トシテ、私訴ニ關スル規定デアリマス、即チ之ヲ分チテ三  
章トシテ、第一章通則、第二章第一審、第三章上訴、即チ  
是ダケノ事カ刑事訴訟法案ニ規定シテ居リマスガ、本件ハ  
ソコニ被告人ノ訊問ニ關スル規定ガアル、ソレカラ被告人  
ノ訊問ニ關スル規定ガアル、是ダケガ既に別途規定有  
る事アリマス、斯ウ云フ編ヲ置カズシテ



ハ、之モ頗ル急ヲ要スル、サウ云フ次第カラ、陪審法案ハ御承知ノ通り法制審議會ニ内閣ヨリ諮詢ニナリマシテ、其綱領ハ全會一致ア極メテ早ク纏タ、ソコア陪審法案ヲ急イテ起案シマシテ、之ヲ現行刑事訴訟法ノ特別法ノ趣旨ニ於テ起案スルコトニナラテ居タ、然ルニ刑事訴訟法案モ長ラク問題トナラダノデ、今年出サレナイト云フノモ甚ダ困ルノデ、陪審法案ガ略々出來上リマシタ上デ、刑事訴訟法ハ委員デアリマシテ、今日之ヲ議會ニ提出シ得ルヤウニナラダノデアリマス、ソレデ刑事訴訟法案ト陪審法案トハ、別々ニ審議ニ諸君ノ非常ナ努力デ、夏ノ休暇中、酷暑ノ時ニ午前ヨリ午後ニプラ通シテ、毎日努力ヲ致サレタ結果、非常ニ進捗ハ速デアリマス、ソレデ陪審法ト陪審法トハ同一理由モナラヌケレバナラヌト云フ、理由モナインデ、又體裁ガ悪イコトモナイ、私ナドノ考ハ、是ハ別ノ法律デアル方ガ宜カラウト云フ風ニ――ハ刑事問題ニ付テハ素人デアリマスガ、起訴トナタ、併ナガラ必ズシモ刑事訴訟法ト陪審法トハ同一ノ法律ニナラヌケレバナラヌト云フ、理由モナインデ、又體裁法ト文字條文等ノ調和ヲ取テ書キ直シタ次第アリマス、其關係カラ一度陪審法案ヲ樞密院ニ諮詢セラレタノヲ撤回シタ形ニナタノデアリマス、此點ハ此機會ニ私カラ申上ゲテニ疑義ヲ懷クモガアタヤウテアリマスガ、全クハ陪審法案ガ一度現行刑事訴訟法ニ基イテ出來テ居タモナラ、刑事訴訟法成ルニ及ンテ、之ト調和ヲ取ルト云フ簡単ナル手續ノ爲ニ撤回シタノデアリマス、此點ハ此機會ニ私カラ申上ゲテ置キマス、而シテ此陪審法案ガ樞密院ニテドウ云フコトニナッテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、大體斯ウ云フ事ヲ申談ノ結果、是ハ樞密院ニ議定マル迄ハ、一切之ヲ祕密ニシテ置イテ吳レ、宣シイ、ト云フ約束ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ重大ナル法案デアリマスカラ、豫メ出來上テ公ニシテ一二年ヲ待テ議會ニ出スノモノノ方法デアリマセシハ解決スルアラウト考ヘテ居ル、樞密院ノ委員諸君ト相談ノ結果、是ハ樞密院ノ議定マル迄ハ、一切之ヲ祕密ニシテ置イテ吳レ、宣シイ、ト云フ約束ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ、私ヨリ言明スルノガ相當アラウカ知レマセヌガ、暫ク此點ハ御免シテ願ヒタ、私ノ豫測ニ依レバ、陪審法案モ久シカラズシテ出ルト思フ、今委員會ヲ開クノガ一寸延ビテ居リマスカラ――一度國葬ノ問題等モアリ、暫ク延ビテ居リマスケレドモ、近ク是ガ開カレテ、サウシテ兩者ノ意見即チ司法當局ト樞密院ノ意見ト、或ル一致點ヲ見出シテ、提案スルコトガ出來ルカト考ヘテ居ルノデアリマス○作間委員只今司法次官ノ御答辯中、其ノ次官ノ所謂微妙ノ點、特別ニ味ノアル意味ノ深サウナ御言葉ノ裏面

ニ存スル消息ヲ伺ヒタカッタノデアリマスケレドモ、折角次官ハソレ程セツナサウニ仰セラレテ居リマスカラ、是以上ハ私トシテ此場合ニハ差控ヘテ置キマセウガ、唯手っ取り早ク今期議會ニ御提案ガ出來ル御見込デアリマセウカ、ソレダケ伺

置キマス

○山内政府委員 本期議會ニ出セル考ヲ持テ居リマス、不日委員會モ開カレテ、歸著點ヲ見ルデアラウト申シマシタノハ、其趣旨ニ私ハ申上ダタ次第アリマス

ノハ、其趣旨ニ私ハ申上ダタ次第アリマス

○作間委員 次ハ公訴權モ歸屬ニ付テアリマスガ、起訴權ハ檢事カ専ラ之ヲ有シテ居ラレルコトハ、大體ニ於テ先進國ノ刑事訴訟法制ニ照シマシテモ左様アリマスルシ、又從來我國ノソレガ一貫シタル主義ニナラテ居タヤウデアリマスカ、今ヤ時勢ノ進歩ト共ニ、公訴權ノ一部ヲ、檢事以降ノ下ニ之ヲ行ハシムベキガ相當アリト云フ意見モ、中々盛ニナラテ參タノデアリマス、甚シキニ至リマシテハ、國民公訴權――國民ノ一般ニモ、或ハ規定ノ下ニ公訴權ヲ分チ與ヘルト云フ要求ノ聲スラ聞カル、ノデアリマスガ、併ナガラ是等ハ括ダ進ミ過ギタ議論ト見ラレヌコトモザイマシカ、併シタ形ニナタノデアリマス、此點ハ此機會ニ私カラ申上ゲテニ疑義ヲ懷クモガアタヤウテアリマスガ、全クハ陪審法案ガ一度現行刑事訴訟法ニ基イテ出來テ居タモナラ、刑事訴

訟法成ルニ及ンテ、之ト調和ヲ取ルト云フ簡単ナル手續ノ爲ニ撤回シタノデアリマス、此點ハ此機會ニ私カラ申上ゲテ置キマス、而シテ此陪審法案ガ樞密院ニテドウ云フコトニナッテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、大體斯ウ云フ事ヲ申談ノ結果、是ハ樞密院ノ議定マル迄ハ、一切之ヲ祕密ニシテ置イテ吳レ、宣シイ、ト云フ約束ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ、私ヨリ言明スルノガ相當アラウカ知レマセヌガ、暫ク此點ハ御免シテ願ヒタ、私ノ豫測ニ依レバ、陪審法案モ久シカラズシテ出ルト思フ、今委員會ヲ開クノガ一寸延ビテ居リマスカラ――一度國葬ノ問題等モアリ、暫ク延ビテ居リマスケレドモ、近ク是ガ開カレテ、サウシテ兩者ノ意見即チ司法當局ト樞密院ノ意見ト、或ル一致點ヲ見出シテ、提案スルコトガ出來ルカト考ヘテ居ルノデアリマス○作間委員只今司法次官ノ御答辯中、其ノ次官ノ所謂微妙ノ點、特別ニ味ノアル意味ノ深サウナ御言葉ノ裏面

ニ存スル消息ヲ伺ヒタカッタノデアリマセウカ、アリマスケレドモ、最近種々ナル問題ガ出來マシテ、總テ國民ノ間ニ是ニ付テ如何ナル意見ガ起テ居ルカト云フコトモ、十分御諒察ナサシテ居ルコトト私ハ思ヒマス、デ只今申上ダマシタノハ、公訴權ノ一部ヲ他ノ機關ニモ、獨立シタル機關ニ分カタレテハ如何カト云フコトヲ申上ダマシタ、殊ニ當然公訴權ノ一部ヲ檢事ニ専属セシムモノヲ、他ノモノニ一部ヲ分ケルノハ、假令特別ノ場合ト雖モ分ツコトヲ好マナイト申

譯ニナラナイト思ヒマス、此主義カラ致シマシテ、只今申シマシタ検事ニ専属シテ居ル公訴權ヲ、或特別ノ規定、一定ノ制限内ノ下ニ、特殊ノ委員會、或ハ審查會、名稱ハ何レデアリマスカラ、斯様法律ハ、時代思想ヨリモ一步進先ンジテ居ル位デゴザイマセヌト、相當ニ其時勢ニ間ニ合シテ行ク行カナケレバナラヌモノト思ヒマスガ、其間ニ時代ト國民ノ思想ト云フモノハ、急激ニ進ミ變テ參ルコトニ相違ナイノモニ出來ナイコトニ相成テ居ルノデアリマスカラ、此法律モ一度施行サレマスヤ否ヤ、最早私ハ五年十年此儘デ進ンデアリマス、是ハ司法當局ノ宜イ瓣ト申シマセウカ、宜クナイ

瓣ト申シマセウカ法典的ノ法律ハ、一度ソレガ成案ニナラ

シマスル訴訟立法ノ上カラ申セバ、少シク時代ニ副ハナイヤ

ウナ氣モ致スノデアリマス、尤モ此法案ノ如キハ、從來ノ法

規定、新シイ主義ニ依テ行ハルノデアリマスケレドモ、一

度作ラマスレバ、モウ改正ト云フコトノ出來コトハナイノデ

アリマス、是ハ司法當局ノ宜イ瓣ト申シマセウカ、宜クナイ

瓣ト申シマセウカ法典的ノ法律ハ、一度ソレガ成案ニナラ

シマスル訴訟立法ノ上カラ申セバ、少シク時代ニ副ハナイヤ

ウナ氣モ致スノデアリマス、尤モ此法案ノ如キハ、從來ノ法

規定期、新シイ主義ニ依テ行ハルノデアリマスケレドモ、一

任意アルカラ、是ハ起訴スキ事柄デアルカ、起訴スベカラ  
ザル事柄デアルカ、又起訴シタ方ガ宜カラウカ、起訴シナ  
方ガ宜カラウカト云フコトニ付テハ、可ナリ私ハ検事自身ニ  
於テモ、隨分考慮ニ餘ル事柄ガ事實問題トシテ從來モアリ  
マシタシ、近來ハ殊ニ多ウゴザイマス、將來モ亦中々多カラウ  
ト思フノデアリマス、其場合ニ切メテハ詰問機關、決議機關  
等ヲ置カレマシテ、是ハ起訴スベキ事柄デアラウカ、起訴シナ  
イ方ガ宜シカラウカト云フコトヲ、國民ノ正當ナル合意ニ聽  
カレテ、其決議ヲ俟タル、ト云フテハ如何ナモノデアルカモ  
知レマセヌガ、ソレヲ一ツノ重要ナル意見トシテ、尊重セラウ  
ル程度デモ宜シウゴザイマスガ、サウ云フヤウナ爲ニ、一種特  
別ノ機關ヲ或規定ノ下ニ設ケラル、サウシテ検事が少シモ  
考慮ノ餘地ノナイ場合ニハ、問題ハアリマセヌケレドモ、若シ  
檢事ガ一利一害國論ノ一部ト他ノ一部トノ間ニ非常ナル  
衝突利害等ノ岐レマスル場合、思案ニ餘ラレルコトガアタ  
時分ニハ、其機關ノ意見ヲ微スルト云フコトノ制度ヲ認メ  
ラル、ト云フコトハ、如何ト思ヒマスガ、其點ニ付テ併セテ伺  
テ置キタイト思ヒマス

○林政府委員 作問君ノ今御質問ニナリマシタヤウニ、檢  
事ガ一已トシテ事件ヲ起訴スベキカ、起訴スベカラザルカニ  
付テ疑ヲ起シ迷ヲ抱クト云フコトハ、實際ニ於テ往々アルコ  
ト、思ヒマス、只今申ス通り、任意主義ヲ採テ、單ニ法律ニ  
反スルカ反サナイカニ依テ、起訴不起訴ヲ決サナイノデアル  
カラ、隨分困難ナ問題が起ルト云フコトハ、當然ノ事ト思ヒ  
マス、併ナガラ御承知ノ通り、檢事ハ一體デアリマシテ、斯ノ  
如キ場合ニハ、上司ノ指揮ヲ乞ウテ起訴不起訴ヲ決スルコ  
トニナリマスカラ、實際ニ於テ今日マデ吾々ノ知ル所ニ於テ  
ハ、左様ナ事ニ付テ、他ノ諮詢機關ノ意見ヲ俟タナケレバ決  
シ難イト云フ様ナ事ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、要スルニ  
作問君ノ御意見ハ「グランドジュリー」ノ制度ニ類似シタヤ  
ウナ、一つノ制度ヲ立テヤウト云フヤウナ御考デアルヤウデア  
リマスガ、本案ニ於テハ、其制度ハ今日ノ我國ニ於テ適當デ  
ナイト云フ趣意ニ依テ、是ハ採用ニナリマセヌ次第アリマ  
ス、左様御了承ヲ願ヒマス

○作問委員 ソレ以上ハ議論ノ問題ニナリマスカラ、質問  
トシテハ差控ヘマス、次ハ無罪賠償主義デアリマス、是モ亦  
實際現在ニ於キマシテハ、沟ニ國民ノ衷心カラ希望致シテ  
居リマスル主義デアリマシテ、檢事が任意ニ公訴ヲ提起セラ  
レマシテ、其結果被告人ト相成リマシテ、或ハ法律上罪トナ  
ラズ、或ハ證據十分ナラザルか故ニ罪トナラズト云フ判決ヲ  
受ケマシテ、青天白日ノ身ト相成リマシタ結果、先づ今日ニ  
於キマシテハ自費ヲ以テ新聞ニ廣告トシテ、ソレデ世ノノム  
諒解ト同情ヲ求メ得ル位ナ程度ニ止ムテ居ルノデアリマスル

ガ、是ハ此處デ私ガ改メテ申上ゲルマデモナク、寃ニ隨分サ  
ウ云フ目ニ遭ヒマシタル正當ナル國民ハ、實ニ私ハ氣ノ毒ト  
モ何トモ申シヤウガナイ程、同情ニ堪ヘナインデアリマシテ、  
是ハ司法當局ニ於カレマシテモ、矢張同様ノ思召ヲ持ツテ  
居ラル、ニ相違ナイト思フノデアリマス、此場合ニ於キマシ  
テ、國家ガ相當ノ補償ヲ盡シテヤル、國家ガ相當ノ名譽上  
及財產上ノ損害ヲ賠償シテ、切メテハ精神的物質的ニ被ツタ  
迷惑ノ一部デモ補テ、其被告人タリシ者ニ陳謝ノ意ヲ表  
スルト云フコトハ、私ハ寃ニ入權ヲ尊重シ、且ツ今日ノ時代  
思潮ニ照シマシテモ、當然ノ事柄デアラウト思フノデアリマ  
ス、此法律ガ兩院ヲ假ニ通過致シマシテ——恐ラクハ通過  
致シマセウガ、通過致シマシテ施行セラル、コトニナリ、其間  
數年ヲ經ルヤ否ヤノ間ニソレ等ノ議論ト云フモノハ全ク國  
民ノ間ニ白熱化シテ參ルト私ハ思フノデアリマス、折角司  
法當局ガ多年ノ御努力ニ依テ、斯様ナ進ンダ法制ガ出來  
マシテモ、サウ云フ骨子ノ點ニ付テ、一部モ古イ考ヲ交ゼ  
テ置カレマシテハ、私ハ佛作シテ魂入レズトカ云フ謠ニナリハ  
シマイカト思フノデゴザイマス、是非此場合ニ無罪者ニ對ス  
ル國家賠償主義、其主義ニ基ク制度ヲ明ニ定メテ戴キタイ  
ト思フノデゴザイマスガ、此點ニ付キマシテノ政府ノ御所見  
ヲ伺テ置キタインデアリマス

○山内政府委員 法行爲ト言ヒマスカ、何ト言ヒマスカ知  
リマセヌガ、官吏ノ行爲ニ對スル國家賠償責任ノ問題が起  
タノハ、是ハ餘程古クカラノヤウニ考ヘマス、私が殊ニ直接ニ  
其問題ニ付テ議ニ與シタコトハ、例ノ戸籍法改正當時ニ既  
ニ其間頼ガ起キタノデ、勿論民間ニ於テモ、政府ニ於テモ、  
國家賠償責任ノ問題ニ付テ講究スルト云フコトハ勿論必要ナ  
色々此點ニ付テハ議論ガアルノデアリマス、殊ニ刑事問題  
ニ付テハ、私ノ記憶が間違シテ居ルカ如リマセヌカ、此議會  
ニ於テモ、度々問題ニナシタヤウニ考ヘテ居リマス、之ヲ廣く  
國家賠償責任ノ問題ニ付テハ、私ノ記憶が間違シテ居ルカ如  
リマセヌカ、此點ニ付テハ議論ガアルノデアリマス、少クトモ  
豫審判事ニ對シテ、辯護權ノ一部ヲ行ヒ得ル制度ヲ希望  
致シマシテモ、現ニ此點ニ付テハ慎重ニ調査シツクアルノデ、  
固ヨリマダ成案ハアリマセヌカ、今直チニ刑事訴訟法ノ中  
ニ入レルト云フコトハ、出來ルト考ヘマスケレドモ、決シテ  
承ヲ願ヒマス

○作問委員 サウスルト近キ將來ニ於テ、ソレヲ愈々法制

ノ下ニ現シテ下サルト云フコトヲ、公ニ御約束ヲシテ戴クコ  
トが出来ルノデスカ

○山内政府委員 私カラ此處デ御約束ヲスルト云フコト  
ハ、又ドレダケノ效力ガアルカ如レマセヌガ、政府ヲ致シマシ  
テ、此點ニ就テ調査シツ、アルト云フコトヲ申上ゲル外ニハ、  
御約束ト云フコトヲ此處デ私ハ出來上テ居ナイモノアリ

マスカラ、申上ゲル譯ニ參リマセヌ  
○作問委員 唯調査申ト云フダケデハ——モウ調査申ト  
云フコトモ、私モ必ズ只今ノヤウナ御捕ヒテ、賢明ノ方ガ司  
法當局ノ幹部ヲ占メテ居ラレマス以上、斯ウ云フ問題ヲ開  
拓ラズ案ニシテ世ノ中ニ公ニスルト云フ位ノ事ハデスナ、  
却サレテ居ナイト云フコトト、初カラ存ジテ居リマスケレドモ  
テ、國家ガ相當ノ補償ヲ盡シテヤル、國家ガ相當ノ名譽上  
及財產上ノ損害ヲ賠償シテ、切メテハ精神的物質的ニ被ツタ  
迷惑ノ一部デモ補テ、其被告人タリシ者ニ陳謝ノ意ヲ表  
スルト云フコトハ、私ハ寃ニ入權ヲ尊重シ、且ツ今日ノ時代  
思潮ニ照シマシテモ、當然ノ事柄デアラウト思フノデアリマ  
ス、此法律ガ兩院ヲ假ニ通過致シマシテ——恐ラクハ通過  
致シマセウガ、通過致シマシテ施行セラル、コトニナリ、其間  
數年ヲ經ルヤ否ヤノ間ニソレ等ノ議論ト云フモノハ全ク國  
民ノ間ニ白熱化シテ參ルト私ハ思フノデアリマス、折角司  
法當局ガ多年ノ御努力ニ依テ、斯様ナ進ンダ法制ガ出來  
マシテモ、サウ云フ骨子ノ點ニ付テ、一部モ古イ考ヲ交ゼ  
テ置カレマシテハ、私ハ佛作シテ魂入レズトカ云フ謠ニナリハ  
シマイカト思フノデゴザイマス、是非此場合ニ無罪者ニ對ス  
ル國家賠償主義、其主義ニ基ク制度ヲ明ニ定メテ戴キタイ  
ト思フノデゴザイマスガ、此點ニ付キマシテノ政府ノ御所見  
ヲ伺テ置キタインデアリマス

○作問委員 調査スルト云フ意味ハ、必ズ或物ヲ作  
リタイト云フ考デ居ルト云フコトダケハ申上ゲマスガ、其點  
ニ辯護人ヲ付セラル、ノ制度ハ、此法案ニ於テモ、或程度ハ  
確ニ認ダテ下サイマシタ、即チソレハ公判ニ於テ召喚シ難イ  
ト認メラル、證人ノ訊問、ソレニ辯護士ガ立會ヒ得ルコト、  
ソレカラ或特別ノ場合ニ、必要ノ處分ヲ辯護人が請求シ書  
類及證據類ノ閱覽ヲ辯護人が爲シ得ルコト、此範圍此程  
度ニ於テ、辯護人ヲ付スルト云フコトハ、斯様ニ限ラレタ  
從來ノ法制ニ比シテ、特ニ一段ノ進歩デアル、又世論ノ一  
部ヲ確カニ御容レ下スツタコト、認メマス、ケレドモ吾々ノ  
所謂豫審ニ辯護人ヲ付スルト云フコトハ、斯様ニ限ラレタ  
ル特別ノ三箇ヲ意味スルノデ、ナインデアリマス、少クトモ  
豫審判事ニ對シテ、辯護權ノ一部ヲ行ヒ得ル制度ヲ希望  
致シテ居ルノデアリマス、即チ事實及證據等ニ付テ辯明、被  
告ノ爲ニ豫審判事ノ諒解ヲ求ムル或ル種ノ行爲ヲ爲シ得  
ル底ニ立法ニ出テラレコトヲ唱ヘテ參シタノデアリマスガ、  
成程豫審ニ辯護士ヲ付スルト云フコトヲ許サレマシタコト  
ハ、許サレマシタケレドモ、只今申上ゲマスヤウナ、唯三箇ノ  
場合ト云フコトデハ、餘り吾々ノ從來ノ希望意見ニ比シマ  
シテハ、有難味ガ多クナインデアリマス、今少シ豫審辯護權ヲ  
擴張シテ頂クト云フコトニ付テノ御考ハナカクナノデゴザイマ  
セウカ、此點ヲ伺ヒマス

○林政府委員 作問君ノ御尋ニ對シテ御答ヲシマスガ、本  
案ニ辯護人ガ豫審ニ關與シ得ル範圍ハ、實ハ今作問君ノ  
仰セヤッタ以外ニモアリマスノデ、例ヘバ押收搜索アルトカ  
検證デアルトカ云フヤウナ場合ニ、辯護人ノ立合權ヲ認メ  
テアリマス、要スルニ證人訊問、鑑定、押收、搜索、檢證、是  
ガ豫審手續ノ主要ナモノアリマシテ、其主要ナル手續ニ  
付テ、辯護人ガ大體ニ於テ何レモ關與出來ルコトニナシテ居  
リマス、ソレカラ又書類モ一定ノ範圍ニ於テ閱覽出來ルト  
云フコトニナシテ居リマスノデ、辯護人ハ豫審手續ノ大體ヲ  
知テ、サウシテ被告人ハ防禦ヲスルト云フコトハ、相當

ニ出來ルコトデアルト考ヘテ居リマス、唯被告人訊問ノ場合ハ、辯護人ノ立會ト云フモノハ認メテ居リマセヌケレドモ、御承知ノ通り、豫審ハ準備手續デ機敏ヲ要スルヤウナ關係ガ、公判ナドトハ餘程違フノニアリマスカラ、大體此程度ニ於テ辯護人ノ關與ヲ認メタラ宜シカト云フコトハ、是ハ調査委員會ニ於テモ大變ニ議論ガアリマシタ、色々ノ説ガアリマシタ、作間君ノ仰セノヤウナ論モ無論出マシタガ、段々審議ノ結果、此程度ニ於テ干與ヲ認メルノガ今日ニ於テハ適當デアルト云フコトカラ、斯ノ如ク定メタ次第アリマス

○作間委員 モウニ點ダケー此法案ノ主義ト致シマシテハ、公判ニ於テ飽迄——公判バカリナク、公判以外ニ於テ飽迄彈劾主義、即チ裁判所ヲ中心トシテ、檢事ト被告トハ、對等ノ位置ニ立ツ、三面關係ニ於テ審理ヲ進メラレント云フ意味デゴザイマスレバ、誠ニ當然ノ事デアル、結構ノ事デアラウト思ヒマス、唯斯ウニ云フ事ハ、刑法條章中ニ明文ヲ設クルマデノコトナク、若シ明文ヲ設ケルトスレバ、裁判所構成法等ニ明文ヲ設ケラレ、其點ヲ修正スルコトニ屬スルカモ知レマセヌケレドモ、矢張從來世間ノ議論ノ多カッタ檢事ノ席デアリマス、檢事ノ席ヲ下シテ申シテハ誤弊ガアリマスガ、判事ノ席ト異ニシテ、公判廷ニ於テハ被告人又ハ辯護人ト同様ノ地位ヲ占ムルト云フコトハ、主義ヲ明カニセラル、上ニ於テモ適當ノ事デアル、又世論ノ一端ヲ御マスガ、判事ノ席ト異ニシテ、其點ハ如容レ下サル處置ニ相成ラウト思フノアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ、ソレト今一ツハ、法廷ニ於テ檢事論告ノ場合ニ、被告人ノ起立ヲ強請セラル、舊慣ノアルコトデアリマス、是ハ社會主義者等が被告ニナリマシタ場合、唯國家ノ機關ニ對スル別種ノ意味ヲ以テ申上ゲル譯デハ決シテナイノデアリマスケレドモ、イソ明ニ廢スルト言ハレタラ如何デアルセラレテ居ナイ機關デアルト云フコトデアリマス、斯ウニ云フ事ハ、殊ニ彈劾主義ヲ以テ公判ヲ進行セラレテ行クト云フ御意見デアリマス以上ハ、是等ハ矢張リ從來議論トナッタ問題デアリマスカラ、イソ此場合ニ此法案中ニ明文ヲ置カレテ、其議論ノ跡ヲ斷タレテ、サウシテア、云フ忌ハシイ問題ヲ設クル事柄デハナイ、唯慣習上ノ事デアルカラ、從前ノ慣習ハ此法律ノ改正ト共ニ別ニ明文ハ置カヌデモ、一切廢シテサウニ云フヤウニ取計テヤラウト云フ思召デアリマセウカ、但シ御考ハアリマシテモ、ソレハ刑事訴訟法中ニ規定

ノアリマス、私モ大分裁判官ヲシテ居リマシタケレドモ、ソンナ法律ヲ知ラズシテ、慣習上ヤッテ居ダ、多クノ判事ノ——年寄タ判事カラ、斯ウニ云フ何トカガアルト云フコトデ、見タコトガレテ、其議論ノ跡ヲ断タレテ、サウシテア、云フ忌ハシイ問題ヲ設クル事柄デハナイ、唯慣習上ノ事デアルカラ、從前ノ慣習ハ此法律ノ改正ト共ニ別ニ明文ハ置カヌデモ、一切廢シテサウニ云フヤウニ取計テヤラウト云フ思召デアリマセウカ、但シ御考ハアリマセウカ

○山内政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、要スルニ司法行政ニ關する問題デアリマス、御尋ノ終りノ方ニ言ハレタヤウニ、刑事訴訟法ノ中ニ書クベキ事柄デアルマイト思ヒマス、而シテ辯護士ノ地位——地位上ニ云フテハ誤弊ガアリマスカラ、席ニ過ギマセヌガ、上告ノ制度付テハ屢々能ク問題ヲ惹起シマスノデ、大シタ私ハ大キナ問題ト考ヘテ居ナインデアリマスガ、單ニ裁判所ノ建築ヲ少シスルニナシテシマッテ居ルモノデスカラ——是等ノ御要求ハ私風ニナシテシマッテ居ルモノデスカラ——

○作間委員 今ノ點ニ付キマシテ承レバ、今横山サンカラ御注意モアリマシタ、私モ左様ニ承クナデアリマスガ、檢事ガ法廷ニ於テ陳述セラレル際ニハ、被告ハ敬意ヲ表ス爲ニ、法廷ニ於テ起立セヨト云フコトハ、古イ太政官時代トカニ、何カ御布令ガ——其當時ノ布達カ布告ガ出テ居タヤウデアリマスガ、サウニ云フモノガアッテ、ソレヲ墨守セラレテ居ルコトデアルナラバ、是ハ何モ此法律ノ改正ノ中ニ入レテ戴クコトデモアリマセヌケレドモ、イソ明ニ廢スルト言ハレタラ如何デアリマセウカ、又今司法次官ノ御意見ニ依テモ、ソレハ別ニムヅカシイ注文トモ思ハヌ、別ニサウ固執モナイト云フ極ク開ケタ御意見デアリマス以上、イソ司法省ノ方針ハサウ云フ方針デアルト云フコトヲ公ニセラレテ、同時ニ矢張地方各裁判所ニ通達シテ戴キマセヌケレバ、中々今迄ノ舊慣ヲ自ラ變ヘテ戴クト云フコトハムヅカシイノデアリマス、ソレ迄ノ御奮發ヲ序ニ願フ譯ニ行キマスマイカ

○山内政府委員 此間其問題ガ起テ、私モ或ル年ヲ取ニ於キマシテ十分審議ヲ遂グマシテ、矢張上告ノ理由トスルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ解釋ガ定マッテ居ル、次第デアリマスソレハ四百十四條ノ「刑ノ量定甚シク不當ナリト思料スヘキ顯著ナル事由アルトキハ之ヲ上告ノ理由ト爲スコトヲ得」此刑ノ量定ト云フハ、刑期又ハ金額ノ量定ト云フ狹イ意味デハナイ、刑ニ關スル一切ノ裁量處分ヲ包含シテ執行猶豫ヲシタ場合ニ、ソレガ不當アルト云フコトガ顯著アレバ、ソレモ上告ノ理由トナル、斯ウニ云フコトニ百十四條デ參ル考デアリマス、是ハ四百十四條立案案ノ際ニハ知リマセヌケレドモ、若イ人ハソンナモノヲ知ルマイト思フ、自然ノ成行デ是ハヤツテ居ルト考ヘテ居ル、デ私ナドハソンナ法律ハアラズテモ死ンデ居ルノナカニ位ノコトニ心得テ居ル、ソレヲ通達ヲ必要トスル場合ニハ——餘リ古メカシク世ノ中ノ思想ニ合ハヌヤウナコトヲ廢メロト云フ位ノコトヲ通達スルコトハ、一向差支アリマセウカ

○作間委員 四百十四條ノ中ニ、執行猶豫ヲ與ヘナカッタ場合ヲ含ム趣旨ト仰セラレマス以上、ソレハ前申上ゲマシテヤウナ途ハ開カレテ居ルコトデアリマスカラ、結構デアリマスガ、此明文デハ、執行猶豫ヲ與ヘナカッタ場合ハ、或ハソレ

ダケデハ舍マナイト云フヤウナ疑義が生ジハシナカラウカト思ヒマスガ、是ハ逐條審議ノ場合ニ、モウ一度御意見ヲ確メルコトニ致シマセウ、最後ニ未決勾留日數ヲ刑期ニ通算セラル、ト云フコトデアリマスガ、本法案ニ於キマシテハ、未決勾留ハ二箇月ヲ以テ一單位トセラレルト云フコトニナツテ未決勾留ノ日數ガ短縮サレテ居ルノデアリマス、併ナガランレヲ更新スルコトモ出來ルノデアリマスカラ、必ズシモ未決勾留日數ガ二箇月以内、即チ六十日以内ガ短カイト云フコトモ言ハレマスマイガ、是ハ御審理ノ都合ニ依シテハ、ドウモニ箇月ヲ單位トセラレルト云フコトハ、實際ムヅカシイカト思ヒマス、尤モ司法省ハ此法律案ヲ愈、御實行ノ場合ハ、豫審判事ヲ殖ヤサセ、サウンシテ經費ヲソレダケ殖ヤシテ戴クヤウナ譯デアレバ、實際早々審理ガ進ムカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ二箇月ヲ單位トスルト云フコトハ、實際ニ於言フベクシテ行ハレヌト同時ニ、更新又更新デ、二箇月ガ四箇月ニナリ、四箇月ガ六箇月ニ延ビル、又ソレ以上ニモ再三更新ニ依シテ延ビルト云フコトニナレバ、二箇月ヲ單位ニ限ラレタト云フコトハ、意味ノ少ナイ事ニナリハシナイカト思ヒマス、一層ソレヨリモ、未決拘留日數ヲ全部、有罪ノ場合ニ於キマシテハ、刑期ニ當然通算サレルト云フ思召ハ無イノデアリマセウカト云フコトト、序ニモウ最後デスカラ、一緒ニ述べ置キマスガ、今迄ハ甚ダ檢事サンニ對シテ餘り其權限ノ大キク、且ツ多ク認メナカダカラ申上ゲマスガ、是モ訴訟法ノ上ニ於テ明カニ現ハセラレル事柄ナニカハ分リマセヌ、寧ロ現ハスペキ事デアリマスマイ、矢張司法行政ノ一部ノ問題デザイマセウガ、檢事ノ捜索機關が附屬リレテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ私共モ檢事ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フノデアリマス、成程只今司法次官ダ御説明ノ中ニ、檢事ガ行政處分ヲ用キル時ニハ、豫審判事ニ請求ヲシテ、判事ヲ索ノ機關方備ハテ居ナイガ爲ニ、全ク私共ハ嘸ジ御不便ノ事デアラウト察スルノデアリマス、葉書デ一々呼出しシ、電話デ一々呼出しシテ來ル人モアリ、來ナイ人モアル、或ハ逃ダ隠レマルコトモナキニシテアラズデアリマス、其場合ニハ相當私ハ司法警察官ヲ專屬セシメテ置イテ、之ヲ御使ヒ爲サル方ガ、餘程便宜アラウ事實ノ審理ノ上ニ於テモ、眞相ヲ得ルコトが出來、且ツ其手數モ少クシテ、日數モ早く済ムダラウト思フノアリマス、多分ノ經費ノ要ル事デモナシ、殊ニソレガ爲ニ、ドウモ東京ニ於キマシテハ、警視廳ト檢事、地方ニ於キマシテハ、縣ノ警察部若クハ各地方ノ警察署ト檢事ノ間ガ、或ハ圓滿ニ行過ギテ居ル場合ニ於テモ、國民ハ場

合ニ依リマシテハ、事件ニ依リマシテハ、一種ノ不安ヲ感ズル、又餘リ圓滿ニ行カナイ場合ニハ、其間甚ダ私ハ檢事局ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フヤウナ不愉快ナ感ジカ致スノデアリメルコトニ致シマセウ、最後ニ未決勾留日數ヲ刑期ニ通算セラル、ト云フコトデアリマスカラ、本法案ニ於キマシテハ、未決勾留日數ガ二箇月以内、即チ六十日以内ガ短カイト云フコトモ言ハレマスマイガ、是ハ御審理ノ都合ニ依シテハ、ドウモニ箇月ヲ單位トセラレルト云フコトハ、實際ムヅカシイカト思ヒマス、尤モ司法省ハ此法律案ヲ愈、御實行ノ場合ハ、豫審判事ヲ殖ヤサセ、サウンシテ經費ヲソレダケ殖ヤシテ戴クヤウナ譯デアレバ、實際早々審理ガ進ムカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ二箇月ヲ單位トスルト云フコトハ、實際ニ於言フベクシテ行ハレヌト同時ニ、更新又更新デ、二箇月ガ四箇月ニナリ、四箇月ガ六箇月ニ延ビル、又ソレ以上ニモ再三更新ニ依シテ延ビルト云フコトニナレバ、二箇月ヲ單位ニ限ラレタト云フコトハ、意味ノ少ナイ事ニナリハシナイカト思ヒマス、一層ソレヨリモ、未決拘留日數ヲ全部、有罪ノ場合ニ於キマシテハ、刑期ニ當然通算サレルト云フ思召ハ無イノデアリマセウカト云フコトト、序ニモウ最後デスカラ、一緒ニ述べ置キマスガ、今迄ハ甚ダ檢事サンニ對シテ餘り其權限ノ大キク、且ツ多ク認メナカダカラ申上ゲマスガ、是モ訴訟法ノ上ニ於テ明カニ現ハセラレル事柄ナニカハ分リマセヌ、寧ロ現ハスペキ事デアリマスマイ、矢張司法行政ノ一部ノ問題デザイマセウガ、檢事ノ捜索機關が附屬リレテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ私共モ檢事ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フノデアリマス、成程只今司法次官ダ御説明ノ中ニ、檢事ガ行政處分ヲ用キル時ニハ、豫審判事ニ請求ヲシテ、判事ヲ索ノ機關方備ハテ居ナイガ爲ニ、全ク私共ハ嘸ジ御不便ノ事デアラウト察スルノデアリマス、葉書デ一々呼出しシ、電話デ一々呼出しシテ來ル人モアリ、來ナイ人モアル、或ハ逃ダ隠レマルコトモナキニシテアラズデアリマス、其場合ニハ相當私ハ司法警察官ヲ專屬セシメテ置イテ、之ヲ御使ヒ爲サル方ガ、餘程便宜アラウ事實ノ審理ノ上ニ於テモ、眞相ヲ得ルコトが出來、且ツ其手數モ少クシテ、日數モ早く済ムダラウト思フノアリマス、多分ノ經費ノ要ル事デモナシ、殊ニソレガ爲ニ、ドウモ東京ニ於キマシテハ、警視廳ト檢事、地方ニ於キマシテハ、縣ノ警察部若クハ各地方ノ警察署ト檢事ノ間ガ、或ハ圓滿ニ行過ギテ居ル場合ニ於テモ、國民ハ場

合ニ依リマシテハ、事件ニ依リマシテハ、一種ノ不安ヲ感ズル、又餘リ圓滿ニ行カナイ場合ニハ、其間甚ダ私ハ檢事局ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フヤウナ不愉快ナ感ジカ致スノデアリメルコトニ致シマセウ、最後ニ未決勾留日數ヲ刑期ニ通算セラル、ト云フコトデアリマスカラ、本法案ニ於キマシテハ、未決勾留日數ガ二箇月以内、即チ六十日以内ガ短カイト云フコトモ言ハレマスマイガ、是ハ御審理ノ都合ニ依シテハ、ドウモニ箇月ヲ單位トセラレルト云フコトハ、實際ムヅカシイカト思ヒマス、尤モ司法省ハ此法律案ヲ愈、御實行ノ場合ハ、豫審判事ヲ殖ヤサセ、サウンシテ經費ヲソレダケ殖ヤシテ戴クヤウナ譯デアレバ、實際早々審理ガ進ムカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ二箇月ヲ單位トスルト云フコトハ、實際ニ於言フベクシテ行ハレヌト同時ニ、更新又更新デ、二箇月ガ四箇月ニナリ、四箇月ガ六箇月ニ延ビル、又ソレ以上ニモ再三更新ニ依シテ延ビルト云フコトニナレバ、二箇月ヲ單位ニ限ラレタト云フコトハ、意味ノ少ナイ事ニナリハシナイカト思ヒマス、一層ソレヨリモ、未決拘留日數ヲ全部、有罪ノ場合ニ於キマシテハ、刑期ニ當然通算サレルト云フ思召ハ無イノデアリマセウカト云フコトト、序ニモウ最後デスカラ、一緒ニ述べ置キマスガ、今迄ハ甚ダ檢事サンニ對シテ餘り其權限ノ大キク、且ツ多ク認メナカダカラ申上ゲマスガ、是モ訴訟法ノ上ニ於テ明カニ現ハセラレル事柄ナニカハ分リマセヌ、寧ロ現ハスペキ事デアリマスマイ、矢張司法行政ノ一部ノ問題デザイマセウガ、檢事ノ捜索機關が附屬リレテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ私共モ檢事ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フノデアリマス、成程只今司法次官ダ御説明ノ中ニ、檢事ガ行政處分ヲ用キル時ニハ、豫審判事ニ請求ヲシテ、判事ヲ索ノ機關方備ハテ居ナイガ爲ニ、全ク私共ハ嘸ジ御不便ノ事デアラウト察スルノデアリマス、葉書デ一々呼出しシ、電話デ一々呼出しシテ來ル人モアリ、來ナイ人モアル、或ハ逃ダ隠レマルコトモナキニシテアラズデアリマス、其場合ニハ相當私ハ司法警察官ヲ專屬セシメテ置イテ、之ヲ御使ヒ爲サル方ガ、餘程便宜アラウ事實ノ審理ノ上ニ於テモ、眞相ヲ得ルコトが出來、且ツ其手數モ少クシテ、日數モ早く済ムダラウト思フノアリマス、多分ノ經費ノ要ル事デモナシ、殊ニソレガ爲ニ、ドウモ東京ニ於キマシテハ、警視廳ト檢事、地方ニ於キマシテハ、縣ノ警察部若クハ各地方ノ警察署ト檢事ノ間ガ、或ハ圓滿ニ行過ギテ居ル場合ニ於テモ、國民ハ場

合ニ依リマシテハ、事件ニ依リマシテハ、一種ノ不安ヲ感ズル、又餘リ圓滿ニ行カナイ場合ニハ、其間甚ダ私ハ檢事局ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フヤウナ不愉快ナ感ジカ致スノデアリメルコトニ致シマセウ、最後ニ未決勾留日數ヲ刑期ニ通算セラル、ト云フコトデアリマスカラ、本法案ニ於キマシテハ、未決勾留日數ガ二箇月以内、即チ六十日以内ガ短カイト云フコトモ言ハレマスマイガ、是ハ御審理ノ都合ニ依シテハ、ドウモニ箇月ヲ單位トセラレルト云フコトハ、實際ムヅカシイカト思ヒマス、尤モ司法省ハ此法律案ヲ愈、御實行ノ場合ハ、豫審判事ヲ殖ヤサセ、サウンシテ經費ヲソレダケ殖ヤシテ戴クヤウナ譯デアレバ、實際早々審理ガ進ムカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ二箇月ヲ單位トスルト云フコトハ、實際ニ於言フベクシテ行ハレヌト同時ニ、更新又更新デ、二箇月ガ四箇月ニナリ、四箇月ガ六箇月ニ延ビル、又ソレ以上ニモ再三更新ニ依シテ延ビルト云フコトニナレバ、二箇月ヲ單位ニ限ラレタト云フコトハ、意味ノ少ナイ事ニナリハシナイカト思ヒマス、一層ソレヨリモ、未決拘留日數ヲ全部、有罪ノ場合ニ於キマシテハ、刑期ニ當然通算サレルト云フ思召ハ無イノデアリマセウカト云フコトト、序ニモウ最後デスカラ、一緒ニ述べ置キマスガ、今迄ハ甚ダ檢事サンニ對シテ餘り其權限ノ大キク、且ツ多ク認メナカダカラ申上ゲマスガ、是モ訴訟法ノ上ニ於テ明カニ現ハセラレル事柄ナニカハ分リマセヌ、寧ロ現ハスペキ事デアリマスマイ、矢張司法行政ノ一部ノ問題デザイマセウガ、檢事ノ捜索機關が附屬リレテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ私共モ檢事ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フノデアリマス、成程只今司法次官ダ御説明ノ中ニ、檢事ガ行政處分ヲ用キル時ニハ、豫審判事ニ請求ヲシテ、判事ヲ索ノ機關方備ハテ居ナイガ爲ニ、全ク私共ハ嘸ジ御不便ノ事デアラウト察スルノデアリマス、葉書デ一々呼出しシ、電話デ一々呼出しシテ來ル人モアリ、來ナイ人モアル、或ハ逃ダ隠レマルコトモナキニシテアラズデアリマス、其場合ニハ相當私ハ司法警察官ヲ專屬セシメテ置イテ、之ヲ御使ヒ爲サル方ガ、餘程便宜アラウ事實ノ審理ノ上ニ於テモ、眞相ヲ得ルコトが出來、且ツ其手數モ少クシテ、日數モ早く済ムダラウト思フノアリマス、多分ノ經費ノ要ル事デモナシ、殊ニソレガ爲ニ、ドウモ東京ニ於キマシテハ、警視廳ト檢事、地方ニ於キマシテハ、縣ノ警察部若クハ各地方ノ警察署ト檢事ノ間ガ、或ハ圓滿ニ行過ギテ居ル場合ニ於テモ、國民ハ場

合ニ依リマシテハ、事件ニ依リマシテハ、一種ノ不安ヲ感ズル、又餘リ圓滿ニ行カナイ場合ニハ、其間甚ダ私ハ檢事局ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フヤウナ不愉快ナ感ジカ致スノデアリメルコトニ致シマセウ、最後ニ未決勾留日數ヲ刑期ニ通算セラル、ト云フコトデアリマスカラ、本法案ニ於キマシテハ、未決勾留日數ガ二箇月以内、即チ六十日以内ガ短カイト云フコトモ言ハレマスマイガ、是ハ御審理ノ都合ニ依シテハ、ドウモニ箇月ヲ單位トセラレルト云フコトハ、實際ムヅカシイカト思ヒマス、尤モ司法省ハ此法律案ヲ愈、御實行ノ場合ハ、豫審判事ヲ殖ヤサセ、サウンシテ經費ヲソレダケ殖ヤシテ戴クヤウナ譯デアレバ、實際早々審理ガ進ムカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ二箇月ヲ單位トスルト云フコトハ、實際ニ於言フベクシテ行ハレヌト同時ニ、更新又更新デ、二箇月ガ四箇月ニナリ、四箇月ガ六箇月ニ延ビル、又ソレ以上ニモ再三更新ニ依シテ延ビルト云フコトニナレバ、二箇月ヲ單位ニ限ラレタト云フコトハ、意味ノ少ナイ事ニナリハシナイカト思ヒマス、一層ソレヨリモ、未決拘留日數ヲ全部、有罪ノ場合ニ於キマシテハ、刑期ニ當然通算サレルト云フ思召ハ無イノデアリマセウカト云フコトト、序ニモウ最後デスカラ、一緒ニ述べ置キマスガ、今迄ハ甚ダ檢事サンニ對シテ餘り其權限ノ大キク、且ツ多ク認メナカダカラ申上ゲマスガ、是モ訴訟法ノ上ニ於テ明カニ現ハセラレル事柄ナニカハ分リマセヌ、寧ロ現ハスペキ事デアリマスマイ、矢張司法行政ノ一部ノ問題デザイマセウガ、檢事ノ捜索機關が附屬リレテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ私共モ檢事ノ爲ニ御氣ノ毒ニ思フノデアリマス、成程只今司法次官ダ御説明ノ中ニ、檢事ガ行政處分ヲ用キル時ニハ、豫審判事ニ請求ヲシテ、判事ヲ索ノ機關方備ハテ居ナイガ爲ニ、全ク私共ハ嘸ジ御不便ノ事デアラウト察スルノデアリマス、葉書デ一々呼出しシ、電話デ一々呼outil

事訴訟法ナドヲ翻譯シタモノモアッタニスガ、之ハ今日殘ラズ摘テ居ラヌカモ知レヌ、サウ云フヤウナ次第、是非ト云フコトナラバ考ヘマシテ、アルダケハ御手許ニ差上げマスガ、先ゾ此理由書ダクデ御諒解ニ達スルコトト心得テ居リマス〇熊谷委員自分等ノ望ム所ハ、材料ハ餘計頂戴シタイト思フ、各國ノ最近ノ刑事訴訟法、或ハ刑事訴訟ハ陪審法ニ主モニ關係ガアルカラ、各國ノ陪審ノ制度ノ取調ガアッタナラバ、ソレモ御提出ヲ願ヒタイト思フ、出來ルダケ廣ク一ツ願ヒタイ、重要ナル法案アリマスカラ、御配付ヲ願シテ置キタイ

○鶴澤委員長能ク政府ト相談シテ、出セルダケ出サセルコトニシテ、ドウデス、一般質問ヲ今日モウ少シ御ヤリ下ス、テハ如何デスカ、今日ハ食後一時カラ又開クコトニ致シマス、是デ休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時二十九分開議

○鶴澤委員長是ヨリ午前ニ引續キマシテ刑事訴訟法案

○鶴澤委員本案ノ全體ニ通ジマスル主義ニ付テ四點ノ

○清瀬委員本件ノ御説明ヲ頗シタイ、第一點ハ簡単ニ申シマスレバ、本案ガ絶

對的ノ任意主義ヲ採用シタル根據如何、斯ウ云フコトデア

リマス、是ハ一國ノ制度トシテ餘程重大ナ問題アリマス、

政府委員ニ於テモ御急ギニナラズニシシミリト御説明ヲ願ヒタ

ヒタク質問者ノ言フガ如キ意見モアッタガ、結局斯ウ決シタ

ンダト云フ作問君ノ午前中ノ質問ニ對スル答辯ダケデハ、

殆ド意味ヲ爲サヌアリマス、日本國ノ裁判制度トシテ、假令罪ガアッテモ、又罪ニ付テ明カナ證據ガアッテモ、檢事ヲ

絶對的任意デ起訴スルモノト、起訴セヌモノト、決メテモ宜イ

リマス、斯様ナコトハ御制定ニ際ニ審議ニ上タコトデアリマス、

此第二百八十一條ノ如キ原則ヲ我國ニ於テ、採用サレル

コトニ於テ吾々ガ首肯スルニ足ルベキ御説明ヲ緩クリ願ヒタ

イノアリマス

○林政府委員只今清瀬君カラノ御質問ノ點ハ、刑事訴

訟ノ主義トシテ根本ノ大問題アルト考ヘマス、隨テ此點

ニ付テハ調査立案ノ際ニ色々ノ意見モアリ、十分ニ研究シ

タ結果本案ノ如ク定メマシタ次第、之ヲ詳シク申スト云

フコトハ時間ヲ要スルコトデアリマスカラ、本案ヲ採用スルニ

スル問題アリマスルガ故ニ、何故ニ絶對的任意主義ヲ御採用ニ相成リマシタカ、此點ノ御説明ヲ願ヒタイノアリマス、現行ノ刑事訴訟法デハ是ハ解釋上色々ニ申シマスケレ

例外ヲ認メタイト云フノモ、吾々ノ感覺アリマス、又國民ノ感覺アリマス、サレバトテ改正案ノ如キ法案デハ第二百八十一條ニアル犯罪人ノ性格、年齢及境遇、並犯罪ノ情狀、又犯罪後ノ情況ニ依テ訴追ヲ必要トセサルトキハ、公訴ヲ提起セザルコト、云フノテ、罪ノ種類ヲ少シモ區別セズシテ、任意ニ検事が起訴ヲ決メラレルコトハ如何デアリマセウ、世間デハ今日ノ立法ハ何處ノ國アモ任意主義ニ傾イテ居ルト云フコトヲ言フノアリマスガ、成程傾イテ領イテ居ルト云フコトヲ言フノアリマスガ、成程傾イテハ居リマスガ、此案ノヤウニ茲ニ書イタ條項ヲ見マスルト云フト、是ガドンナ條件アモ此中ニ入ル、テ此規則ナレバ彼ノ有名ナル大浦ノ不起訴事件アモ起訴ガ出來ル、犯罪後ノ情況デアルトカ、或ハ之ニ多少ノ制限ヲ加ヘテ、例ヘバ獨逸ノ草案ノ如ク重罪ノ重キ刑ノ者ト、輕イモノト併發シタトキニハ、輕イモノハ起訴セザルコト、或ハ又裁判所ニ繫屬シテ——三審間ノ三審ヲ要セザル者ニハ起訴セザルコト、或ハ又我國デモ少年法ト云フモノヲ御制定ニナリマセウガ、幼年者アルカラ特別ノ處分ノ外ニハ斯様ナ者ハ起訴セザルコト、斯様ニ犯罪ノ種類等ニ依テ制限ヲ加ヘルノガ相當デアルマイカ、微罪アルカラ檢舉ヲシナイデ宜シト云フ、微罪不檢舉ノ趣旨ヲ擴張シテ、微罪デナイ大犯罪ヲ起訴シナイデモ宜シトイ云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌト考ヘマス、斯様ナコトハ御制定ニ際ニ審議ニ上タコトデアリマセウ、此第二百八十一條ノ如キ原則ヲ我國ニ於テ、採用サレルコトニ於テ吾々ガ首肯スルニ足ルベキ御説明ヲ緩クリ願ヒタ

○林政府委員只今清瀬君カラノ御質問ノ點ハ、刑事訴訟ノ主義トシテ根本ノ大問題アルト考ヘマス、隨テ此點ニ付テハ調査立案ノ際ニ色々ノ意見モアリ、十分ニ研究シタ結果本案ノ如ク定メマシタ次第、之ヲ詳シク申スト云フコトハ時間ヲ要スルコトデアリマスカラ、本案ヲ採用スルニ至タ要領ダケモ一應申上げア見タイト考ヘマス、本件ガ之ヲ採用スルニ至タ第一ノ理由ハ、現行法ニ於テハ合法主義アルカ、此點ノ御説明ヲ願ヒタイノアリマス、斯ルト云フ原則デアルガ、唯刑事政策上ノ考慮ヨリ微罪ハ現行ノ刑事訴訟法デハ是ハ解釋上色々ニ申シマスケレハ、是ハ任意主義アルカ、注文ノ上デ不明ノ點ガアリドモ、兎モ角モ現行法第六十四條ノ第二項ヨリシテ、現行ノ刑事訴訟法ハ合法主義アル、即チ犯罪アレバ必ズ起訴スルト云フ原則デアルガ、唯刑事政策上ノ考慮ヨリ微罪ハ檢舉セズト云フコトハ、長年司法當局ニ於テヤア居ラヌアリマス、或ル意味ニ於テハ良き結果ヲ齎シ、又他ノ意味ニ於テハ天下言議ノ中心ニ相成リタノアリマス、絶對的任意主義ト云フモノハ成程杓子定規アリテ、年寄ノ將五十件アリマス、其中不起訴ニナリマシタノガ十八万五千四百四十四件、サウシテ其不起訴理由ノ中ア、所謂任意主義ニ依テ檢事が起訴スルコトハ面白クナイト云フ考慮ヨリシテ、古キ政治ノ要求アル絶對的合法主義ニ、多少ノ

ノ上ニ於テ、十數年以來司法當局が取來タ主義アリマス、サウシテ此事ハ唯必要アルノミナラズ、實際ニ於テ非常ニ良イ結果ヲ生ズルト云フコトヲ司法當局ハ信じテ居リマス、シコテ此合法主義ト云フモノハ、ドウシテモ實際ニ於テ、十數年以來司法當局が取來タ主義アリマス、サレテ居ルト云フコトヲ、是ハ法文ニ定メルト云フコト、實際ノ場合ニ適合セヌト云フコトハ餘程困難デアル、サウ云フ次第、實際ノ必要ガ任意主義ヲ採ルト云フコトガ適當アルト云フコトニ司法當局ハ認メ來タノデアリ、又刑事訴訟法ノ立案ニ關與シタ委員諸君モ其點ニ於テハ大體ニ於テ同意見アル、又刑法ノ趣意カラ申シマシテモ、私ヨリ申ス迄モナク犯罪ト刑罰ノ觀念ガ段々變テ參照セテ、所謂應報主義ト云フコトハ今日デハ餘り強ク主張セレナイ、目的主義ガ一般ニ認メラレルヤウニナシタ、罪ヲ犯シタカラ屹度罰シナケレバナラヌト云フ譯ノモノデナリマシテ、所調應報主義ト云フコトハ今日デハ餘り強ク主張セレナイ、目的主義ガ一般ニ認メラレルヤウニナシタ、罪ヲ犯シタカラ屹度罰シナケレバナラヌト云フ譯ノモノデナリマシテ、所謂應報主義ト云フコトハ今日デハ餘り強ク主張セレテ居ルノデ、應報主義ニ見地カラ合法主義デナリテ行クト云フコトハ、近來ノ刑法ノ主義ニモ合ハヌコトニナシテ居ル、スルニ公安ヲ維持スル爲ニ罰ヲ科スルノデアルカラ、其目的ニ合フヤウニ色々ノ刑事政策上ノ研究セアリ、之ガ實際ニ施張セレナイ、目的主義ガ一般ニ認メラレルヤウニナシタ、罪ヲ犯シタカラ屹度罰シナケレバナラヌト云フ譯ノモノデナリマシテ、所謂應報主義ト云フコトハ今日デハ餘り強ク主張セレテ居ルノデ、應報主義ニ見地カラ合法主義デナリテ行クト云フコトハ、近來ノ刑法ノ主義ニモ合ハヌコトニナシテ居ル、スルニ公安ヲ維持スル爲ニ罰ヲ科スルノデアルカラ、其目的ニ合フヤウニ色々ノ刑事政策上ノ研究セアリ、之ガ實際ニ施張セレテ居ルノデ、應報主義ニ見地カラ合法主義デナリテ行クト云フコトハ、近來ノ刑法ノ主義ニモ合ハヌコトニナシテ居ル、ソレデ合法主義ヲ原則トシテ採ラナケレバナラヌト云フコトハ、學問上ニ於テハ一般ニ認メラレルヤウニナシテ居ル、サレテ居ルノデ、應報主義ニ見地カラ合法主義デナリテ行クト云フコトハ、近來ノ刑法ノ主義ニモ合ハヌコトニナシテ居ル、ウ云フコトモ委員會ニ於テ十分ニ研究セリ、參照サレタ事柄デアリマス、ソレカラ又外國ノ立法、並實際ノ遣方ナドモ、ソレデ合法主義ヲ原則トシテ採ラナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ任意主義アルカ、任意主義アルカ、注文ノ上デ不明ノ點ガアリドモ、兎モ角モ現行法第六十四條ノ第二項ヨリシテ、現行ノ刑事訴訟法ハ、無論合法主義ノ見地ノ下ニ出來テ居ルト云フコトハ疑ナリ、併ナガラ合法主義ノ下ニ訴訟法ハ出來テ居ルテモ、實際ノ違方ヲ見ルト云フコトハ、合法主義ニ依テ居ルモト解釋上爭ガアリマスカ、併シ多數ハ合法主義アルト云フコトハ疑ナリ、併ナガラ實際ニ於テ如何ニヤア居ルカト云ノト、十奴十以不仕心工我ノ執心也小心也ム、

ドハ、是ハ任意主義ヲ採テ居ルモト解釋スベキ法文モアリマス、或ル意味ニ於テハ良き結果ヲ齎シ、又他ノ意味ニ於テハ天下言議ノ中心ニ相成リタノアリマス、斯ルト云フ者マデモ起訴スルコトハ面白クナイト云フ考慮ヨリシテ、古キ政治ノ要求アル絶對的合法主義ニ、多少ノ

イ、サウシテ、任意主義ヲ苟モ採ルナラバ、之ヲ法文ニ書クガ  
宜シト、斯ウ云フヤウナコトニ大體議論が總リマシタ、サウ  
シテ此條文ガ出来タ次第アリマス、説明ガ不十分カモ知  
レマセヌカ、大體ノ趣意ハ左様ナ次第アリマス

○清瀬委員 此點ハ尙ホ衆議院ニ於テ慎重ニ討議サル、  
コト、思ヒマスルカ、ソレデ此今ノ委員會ハ各國ノ制度モ  
參酌シ、少カラズ議論モシタ末デ、一先づ之ニ歸著シタ、ソレ  
カラ又先刻ノ有罪デハアルガ不起訴處分ヲシタト云フ統計  
ノ數字モ説明ニナリマシタ、デ又此委員會ハ繼續スルコト、  
思ヒマスルガ、此經過ノ部分モサウデアリマスケレドモ、此任  
意主義ヲ御採用ニナリマシタ経過、又其點ニ對スル御調查、  
即チ外國ノ立法等御提出ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、  
尙ホ先刻ノ不起訴處分ノ何万デアリマスカ、其中ノ罪名等  
ガ罪名別ニデモ之ガ出来レバ、一ツ御提出ヲ願ヒタイ、斯様  
ニ思ヒマス、如何デアリマスカ

○林政府委員 調査ノ上調ベテ差上ダマス

○清瀬委員 第二ノ質問 是ハ一言ニ致シマスト、絶對的  
ノ職權訴追主義ヲ本案ニ於テ採用サレタル理由如何、斯  
ウ云フコトデアリマス、此點ハ作間君ヨリモ質問ガアリマシ  
タカラシテ、重複ノコトハ無論省略致シマス、作間君ノ質問  
ノ要點ハ、檢事以外ニ或ル團體、例ヘバ「グランドジュリン」  
ノ如ナモノヲ設ケテハドウデアルカト云フ質問デアリマシタグ、  
ソレニ對スル兎毛角モ政府ノ意見ヲ耳聴シタノデアリマス、  
私ノ伺ハントスル所ハ、成程今日ノ刑法デ、學者ノ中デハ應  
報主義ト云フコトハ——復讐主義ト云フコトハ下火ニナシテ  
居ルト云フコトデアリマスルガ、是ハ學者ノ言フコトデアル、  
實際上致シマシテハ、矢張犯罪ノ種類ニ依テハ多少被害者  
ノ感覺モ考ヘナケレバナラヌ點ガアルコトハ事實デアル、此處  
ハ學問ノ研究所アリマセスカラ、實際ニ付テ考ヘテ見タイ  
ト思フ、例ヘバ家庭ヲ侵入サレタル者、名譽ヲ毀損サレタル  
者、是等ノ者ガ告訴シタ所ガ、檢事ノ方デハ、任意主義ト言  
ウテ起訴ヲシナインシ人民ノ方デハ直接ニ刑事ノ訴ヲ起スコ  
トガ出來ヌト言アハ、人民ノ苦痛ヲ伸ブル所ガナイト思フ  
ノデアリマス、デ本案ハ思切テ大膽ニモ絶對的ニ職權訴追  
主義ト云フコトヲ貫徹サレテ、裁判所ノ法廷ニ現ハレタ附  
帶犯事件等ニ付テモ酌量サレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、  
實施前ニ於テハ、矢張當事者ニ公訴提起ノ権利ヲ認メタ  
コトモアルノデアリマス、斯ノ如ク個人ノ名譽ニ關シ、或ハ個  
人ノ祕密ニ關シ、即チ個人ノ名譽、祕密、自由等ヲ法域ト  
シテ爲シタ犯罪ニ付テ迄モ、必ズ檢事ノ訴追ヲ要スルト云

フ制度ハ如何ナモノデアラウカ、殊ニ此現行法モサウデアリ  
マスルカ、此改正案ニ於テハ檢事ノ不起訴處分ニハ理由ヲ  
附スルモノデハナイ、一片ノ端書ヲ以テ本件ハ起訴セズト云  
ヘバ、ドンナニ名譽ヲ侵害サレテモ、ソレギリデアル、尤モ裁判  
所構成法ニハ司法行政ノ監督ニ抗告ヲ認メテアリマス、構  
成法ノ百四十條ガソレデアリマス、ケレドモ元々檢事一體  
ノ制度ニ於テ、此抗告ト云フコトハ殆ド意味ヲ爲サヌ、私が  
聽イテ居リマスニハ、裁判所構成法が始テカラ檢事ノ起訴  
處分ニ對シテ抗告ヲシテ、ソレガ立ッタト云フノハタタ一件  
デアリマス、或ハ二三件モアルカモ知リマセヌガ、此案ノ第四  
百七十三條ニハ、檢事ノ勾留押收處分ニ付テ裁判所ニ抗  
告スルト云フ規則ガアリマス、既ニ勾留押收等ノ處分ニ付  
テ檢事ノ系統以外ノ裁判所ニ抗告ヲシテ、其適否ヲ青天  
ノ下ニ明カニスルト云フ抗告ヲ認メタ以上ハ、起訴處分ニ  
付テモ是ト同様ノ事ニシテ、人民ノ枉屈ヲ伸ベル方法ヲ執  
ル必要ガナカッタデアラウカ、此質問ノ理由ハニツキ別レルヤ  
ウデアリマス、即チ犯罪ノ種類ニ依テハ、直接ニ人民ニ公  
訴權ヲ認メルト云フ必要ガナカッタカト云フコト、又是等ノ  
犯罪事實其他ニ付テ、檢事ノ起訴處分ニ對シテ有力ナル  
公訴方法、即チ裁判所ニ對スル抗告、是等ノ制度ヲ認メル  
必要ハナカッタデアラウカト云フコト、此議論ハ私ノ一家  
言デハナイ、是ハ法曹界ニ知レ瓦タ事デアリマスガ、是亦恐  
ラク調查委員會デ此通り決マタド仰シヤルデアリマセウガ、  
此處ハ時間ヲ惜ム所デハナイ、實際此制度ノ不便ナル點ニ  
付テ、衷心心配致シテ居ルノデアリマスカラ、成ベク御丁寧  
ニ御説明ヲ願シテ置キタイト思フノデアリマス

○林政府委員 御尋ノ事ニ關シ大體御答シタイト考ヘマ  
ス、起訴ノ権利ヲ檢事ニ專屬セシムルノガ宜イカドウカト云  
フコトハ、只今清瀬君ノ御話ニナタ通り、非常ナ大キナ問  
題デアリマス、サウシテ外國ノ立法ニ於テハ、檢事ニ原則的  
ニ起訴權ヲ委セテ、補充的ニ一個人ニ起訴權ヲ認メタノモ  
少クナイ、是モ今御話ノ通リアリマス、隨テ是等ノ點ニ付  
テハ十分ニ調査研究ヲ遂ゲテ、斯ノ如ク決マタ次第アリ  
マスガ、其理由ハ調査委員ニ依テ銘々違タ所モアリマセ  
ウケレドモ、私ノ考ヘテ居リマス所デハ、要スルニ先程モ申シ  
タ通り、任意主義ヲ執テ、サウシテ刑事政策ノ要求ニ應ズ  
ルヤウニ起訴、不起訴ト云フコトヲ見分ケル、斯ウ云フコト  
ヲ原則トシタ以上ハ、之ヲ十分ニ理解スル者ガ此判斷ヲシ  
ナケレバ、誤ヲ生ズルト云フコトハ疑ナイ、ソレデアリマスカラ、  
一個人ニ檢事ニ拘ラズ、此起訴權ヲ委ネルト云フコトハ餘  
現ニ世界各國ノ法律ヲ見マスト云フ、大陸法ニ於テハ職  
權主義デヤシテ居リマスガ、英米ニ於テハ當事者トシテノ告  
訴權ヲ認メテ居ル制度アリマス、デ我國ニ於テモ舊刑法  
シテ爲シタ犯罪ニ付テ迄モ、必ズ檢事ノ訴追ヲ要スルト云

フ制度ハ如何ナモノデアラウカ、殊ニ此現行法モサウデアリ  
ナム、此案ノ法文ニモ書イテアリマス通り、「犯罪ノ情況及  
犯罪後ノ情況ニ因リ訴追ヲ必要トセザルトキハ公訴ヲ提  
起セザルコトヲ得」トアリマス、今申サレタヤウニ自由ヲ害ス  
ル罪、名譽ヲ害スル罪ト云フ場合ニ於テ、被害者側ノ感情  
マスルモノモ、ソレガ立ッタト云フノハタタ一件  
處分ニ對シテ抗告ヲシテ、其適否ヲ青天  
ノ下ニ明カニスルト云フ抗告ヲ認メタ以上ハ、起訴處分ニ  
付テモ是ト同様ノ事ニシテ、人民ノ枉屈ヲ伸ベル方法ヲ執  
ル必要ガナカッタデアラウカ、此質問ノ理由ハニツキ別レルヤ  
ウデアリマス、即チ犯罪ノ種類ニ依テハ、直接ニ人民ニ公  
訴權ヲ認メルト云フ必要ガナカッタカト云フコト、又是等ノ  
犯罪事實其他ニ付テ、檢事ノ起訴處分ニ對シテ有力ナル  
公訴方法、即チ裁判所ニ對スル抗告、是等ノ制度ヲ認メル  
必要ハナカッタデアラウカト云フコト、此議論ハ私ノ一家  
言デハナイ、是ハ法曹界ニ知レ瓦タ事デアリマスガ、是亦恐  
ラク調査委員會デ此通り決マタド仰シヤルデアリマセウガ、  
此處ハ時間ヲ惜ム所デハナイ、實際此制度ノ不便ナル點ニ  
付テ、衷心心配致シテ居ルノデアリマスカラ、成ベク御丁寧  
ニ御説明ヲ願シテ置キタイト思フノデアリマス

○林政府委員 今裁判所ガ合法主義ト言ハレタノデアリマ  
スガ、ドウモ私ハ是ハ考物ト思フ、裁判所ガ判決ヲスルノガ  
合法主義デ、茲ニ刑事訴訟法ニ不起訴ニ付テ二百八十一  
條ノ如キ情況ヲ參酌シテ決メロト云フ法律ヲ作レバ、裁判所  
ハ其法律ニ依テ決定スルノデアリマスケレドモ、裁判所

背景ガアルカラシテ居ルニアリマス、假ニ本案ニ於テ検事ノ勾留押收又ハ押收物ノ還付ニ對スル不服ヲ所屬裁判所ニ申立テルコトガ出來ルト云フ 四百七十三條ノ規則ヲ確定サレマシテ、起訴處分ニ付テモ抗告ガ出來ルト云フコトニナレバ、裁判所ハ矢張二百八十一條ノ規則ニ依テ、起訴處分ニ對スル抗告ヲ受理スルコト、思ヒマス、尙ホ此問題モ私ハ餘程重要ノ問題デアリマスカラ能ク調ベタイト思ヒマス、矢張改正理由ニハ此點ハアマセヌガ、何レ此法文ノ御趣旨ニ付テハ相當ノ御説明ガ出ルコト、思ヒマスケレドモ、尙ホ各國ノ立法其他委員會ニ於ケル重要ナ議論等ハ、前段ノ御質問ト同ジク御提出アランコトヲ希望致シマス。

○林政府委員 只今ノ御要求ハ確ニ承知致シマシタ、唯、一寸一言私ノ先程ノ説明ヲ補ッテ置キタイノハ、勾留トハ或ハ押收等ニ付テ、裁判所ニ裁判ヲ求ム手續ガアルカラ、起訴、不起訴ノ事モ同じ理由デハナイカト云フ 御論デアル、其點ニ對スル考ヲ先程申上ゲナカッタノデアリマスガ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス、勾留トカ或ハ押收ト云フコトハ、一定ノ條件ガナケレバスルコトガ出來ヌ、又一定ノ條件カアレバ、解カナケレバナラヌ、是ハ刑事政策上ノ見地カラ見分ケルノデハナイデアリマスカラ、起訴、不起訴ト云フ事トハ餘程違フ、斯ウ云フ考ヲ持テ居リマス、其點ダケ補ッテ置キマス。

○清瀬委員 私が能ク聽キマシタ所ノ第三ノ質問ヲ致シマス、是ハ少シ細カイ事ニナリマスガ、一言ヲ以テ申シマスルト、此度ノ改正案ハ、日本臣民ニ對シテ平等ノ待遇ヲスルカドウカト云フ事デアリマスゾレハ、現今實際ノ板ト致シマシテハ、告訴告發ガアリ、有罪ト見エマシテモ、勅任官又ハ親任官ニ付テハ、普通ノ人民ト同ジク直ニ起訴ヲシテ居ラヌ、斯モ是ハ聽キマスルト、明治三十五年四月ニ、司法大臣カラ檢事局ニ對スル訓令ガアルノダサウデアリマス、思ヒ出セバ彼ノ教科書事件ノ際ニ訓令デアラウカト思フノデアリト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想マスケレドモ他ノ事ハ兎モ角モ、假ニ國法ヲ犯シタ者ダ、ソレガ何トカ云フコトデ、多數ノ日子ヲ要シマシタ爲ニ、證據ト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想カラ申シテモ、如何ニモ殘念ナ事ト思フ、現ニ今政治上ノ諸問題ヲ議會デハアリマセヌケレドモ、昨年ニ於テモ某親任官ガ起訴サレタケレドモ、起訴ヲ爲スニ至ルマデニ、勅裁ヲ仰クトカ何トカ云フコトデ、斯モ是ハ記録ニモ載テ居リマス、今日ノ綱紀肅正ト云フヤウナ事ヲ言ハナケレバナラヌト云フノハ、詰リハ國家ノ上ニ在ル人ニ對スル犯罪ノ起訴手續ガ、從來何トナシニ緩慢デアル、ソレガ爲ニ國ノ幹部ニナリマス。

スルト、大キナ犯罪ヲ平氣デシテ、起訴トナリマスルト、此訓令ニ依テ餘裕ヲ得ル、是ガ如何ニモ平等ノ國民ニハ誠ニ心外デナラヌ、吾々モ實ニ涙ヲ呑ンデ當時憤慨シタノデアル、國ノ法律ガ憲法國ニ於テ二三ニ適用サレルト云フコトハトニナレバ、裁判所ハ矢張二百八十一條ノ規則ニ依テ、起訴處分ニ對スル抗告ヲ受理スルコト、思ヒマスケレドモ、尙ホ此問題モ私ハ餘程重要ノ問題デアリマスカラ能ク調ベタイト思ヒマス、矢張改正理由ニハ此點ハアマセヌガ、何レ此法文ノ御趣旨ニ付テハ相當ノ御説明ガ出ルコト、思ヒマスケレドモ、尙ホ各國ノ立法其他委員會ニ於ケル重要ナ議論等ハ、前段ノ御質問ト同ジク御提出アランコトヲ希望致シマス。

○林政府委員 只今ノ御要求ハ確ニ承知致シマシタ、唯、一寸一言私ノ先程ノ説明ヲ補ッテ置キタイノハ、勾留トハ或ハ押收等ニ付テ、裁判所ニ裁判ヲ求ム手續ガアルカラ、起訴、不起訴ノ事モ同じ理由デハナイカト云フ 御論デアル、其點ニ對スル考ヲ先程申上ゲナカッタノデアリマスガ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス、勾留トカ或ハ押收ト云フコトハ、一定ノ條件ガナケレバスルコトガ出來ヌ、又一定ノ條件カアレバ、解カナケレバナラヌ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス、勾留トカ或ハ押收ト云フコトハ、一定ノ條件ガナケレバスルコトガ出來ヌ、又一定ノ條件カアレバ、解カナケレバナラヌ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス。

○林政府委員 此案ニ於キマシテハ、檢事が起訴不起訴ヲ決スル場合ニ、嫌疑ヲ受ケタ者ノ身分ノ高下ニ依テ、其取扱ヲ異ニスベキ趣意ト云フモノハ、全ク無イノデアリマス、併ナグラ檢事ハ起訴不起訴ノミナラズ、總テノ職務上ノ行為ニ付テ、上官ノ命令ニ服從シナケレバナラヌト云フコトハ、起訴不起訴ノ判斷ヲ誤ラシメナイ爲ニ必要ナ事デ、斯様ナ事ハ隨分アリマス、ソコニ御引用ニナツタ司法省ノ訓令ハ、實ニ内部ノ關係デアツテ、公表スベキ事柄ニハナナテ居マス、是ハ少シ細カイ事ニナリマスガ、一言ヲ以テ申シマスルト、此度ノ改正案ハ、日本臣民ニ對シテ平等ノ待遇ヲスルカドウカト云フ事デアリマスゾレハ、現今實際ノ板ト致シマシテハ、告訴告發ガアリ、有罪ト見エマシテモ、勅任官又ハ親任官ニ付テハ、普通ノ人民ト同ジク直ニ起訴ヲシテ居ラヌ、斯モ是ハ聽キマスルト、明治三十五年四月ニ、司法大臣カラ檢事局ニ對スル訓令ガアルノダサウデアリマス、思ヒ出セバ彼ノ教科書事件ノ際ニ訓令デアラウカト思フノデアリト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想マスケレドモ他ノ事ハ兎モ角モ、假ニ國法ヲ犯シタ者ダ、ソレガ何トカ云フコトデ、多數ノ日子ヲ要シマシタ爲ニ、證據ト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想カラ申シテモ、如何ニモ殘念ナ事ト思フ、現ニ今政治上ノ諸問題ヲ議會デハアリマセヌケレドモ、昨年ニ於テモ某親任官ガ起訴サレタケレドモ、起訴ヲ爲スニ至ルマデニ、勅裁ヲ仰クトカ何トカ云フコトデ、斯モ是ハ記録ニモ載テ居リマス、今日ノ綱紀肅正ト云フヤウナ事ヲ言ハナケレバナラヌト云フノハ、詰リハ國家ノ上ニ在ル人ニ對スル犯罪ノ起訴手續ガ、從來何トナシニ緩慢デアル、ソレガ爲ニ國ノ幹部ニナリマス。

スルト、大キナ犯罪ヲ平氣デシテ、起訴トナリマスルト、此訓令ニ依テ餘裕ヲ得ル、是ガ如何ニモ平等ノ國民ニハ誠ニ心外デナラヌ、吾々モ實ニ涙ヲ呑ンデ當時憤慨シタノデアル、國ノ法律ガ憲法國ニ於テ二三ニ適用サレルト云フコトハトニナレバ、裁判所ハ矢張二百八十一條ノ規則ニ依テ、起訴處分ニ對スル抗告ヲ受理スルコト、思ヒマスケレドモ、尙ホ此問題モ私ハ餘程重要ノ問題デアリマスカラ能ク調ベタイト思ヒマス、矢張改正理由ニハ此點ハアマセヌガ、何レ此法文ノ御趣旨ニ付テハ相當ノ御説明ガ出ルコト、思ヒマスケレドモ、尙ホ各國ノ立法其他委員會ニ於ケル重要ナ議論等ハ、前段ノ御質問ト同ジク御提出アランコトヲ希望致シマス。

○林政府委員 只今ノ御要求ハ確ニ承知致シマシタ、唯、一寸一言私ノ先程ノ説明ヲ補ッテ置キタイノハ、勾留トハ或ハ押收等ニ付テ、裁判所ニ裁判ヲ求ム手續ガアルカラ、起訴、不起訴ノ事モ同じ理由デハナイカト云フ 御論デアル、其點ニ對スル考ヲ先程申上ゲナカッタノデアリマスガ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス、勾留トカ或ハ押收ト云フコトハ、一定ノ條件ガナケレバスルコトガ出來ヌ、又一定ノ條件カアレバ、解カナケレバナラヌ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス、勾留トカ或ハ押收ト云フコトハ、一定ノ條件ガナケレバスルコトガ出來ヌ、又一定ノ條件カアレバ、解カナケレバナラヌ、是ハ大分違フデハナイカト思ヒマス。

○林政府委員 此案ニ於キマシテハ、檢事が起訴不起訴ヲ決スル場合ニ、嫌疑ヲ受ケタ者ノ身分ノ高下ニ依テ、其取扱ヲ異ニスベキ趣意ト云フモノハ、全ク無イノデアリマス、併ナグラ檢事ハ起訴不起訴ノミナラズ、總テノ職務上ノ行為ニ付テ、上官ノ命令ニ服從シナケレバナラヌト云フコトハ、起訴不起訴ノ判斷ヲ誤ラシメナイ爲ニ必要ナ事デ、斯様ナ事ハ隨分アリマス、ソコニ御引用ニナツタ司法省ノ訓令ハ、實ニ内部ノ關係デアツテ、公表スベキ事柄ニハナナテ居マス、是ハ少シ細カイ事ニナリマスガ、一言ヲ以テ申シマスルト、此度ノ改正案ハ、日本臣民ニ對シテ平等ノ待遇ヲスルカドウカト云フ事デアリマスゾレハ、現今實際ノ板ト致シマシテハ、告訴告發ガアリ、有罪ト見エマシテモ、勅任官又ハ親任官ニ付テハ、普通ノ人民ト同ジク直ニ起訴ヲシテ居ラヌ、斯モ是ハ聽キマスルト、明治三十五年四月ニ、司法大臣カラ檢事局ニ對スル訓令ガアルノダサウデアリマス、思ヒ出セバ彼ノ教科書事件ノ際ニ訓令デアラウカト思フノデアリト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想マスケレドモ他ノ事ハ兎モ角モ、假ニ國法ヲ犯シタ者ダ、ソレガ何トカ云フコトデ、多數ノ日子ヲ要シマシタ爲ニ、證據ト云フコトハ、憲法ノ趣旨カラ申シテモ、今日ノ國民ノ思想カラ申シテモ、如何ニモ殘念ナ事ト思フ、現ニ今政治上ノ諸問題ヲ議會デハアリマセヌケレドモ、昨年ニ於テモ某親任官ガ起訴サレタケレドモ、起訴ヲ爲スニ至ルマデニ、勅裁ヲ仰クトカ何トカ云フコトデ、斯モ是ハ記録ニモ載テ居リマス、今日ノ綱紀肅正ト云フヤウナ事ヲ言ハナケレバナラヌト云フノハ、詰リハ國家ノ上ニ在ル人ニ對スル犯罪ノ起訴手續ガ、從來何トナシニ緩慢デアル、ソレガ爲ニ國ノ幹部ニナリマス。

○林政府委員 一寸御質問ノ趣意ヲ誤解シテ居ルカモ、是ハ起訴シマシテ、起訴權ノ制限ヲスルゾト云フ意味デナリ、訓令ハ二百八十一條ニ付テ、二百八十一條ニ反スルモノデナリ、林君ノ言ハレタノハソウ云フ趣意デアツテ、上申ヲ爲ス、今日綱紀肅正ト云フヤウナコトガアリマシテ、隨分是ハ廣イ事ニナツテ居リ

意味デアラウト思フ、一應考慮ノ参考ニ供スルガ爲ニ、或事件ニ付テハ、之ヲ司法大臣ニ上申ヲシロト云フ訓令ノ趣旨デアリマス、其訓令ハ、之ニ依テ當然廢止セラル、ノデハナイ、此趣旨ト相反スルモノナイト云フコトガ、林君ノ説明ノ趣旨ダト考ヘテ居リマス  
○清瀬委員 是ハ前ニモ申ス通り餘程重大問題デアリマスカラ、留保致シマシテ、第四ノ質問ヲ致シマス是ハ本日ノ司法次官ノ説明サレタ如ク、淳風美俗ト云フモノヲ維持スルコトガ、本案ノ提出ノ理由デアル、全體カラ申スト、淳風美俗ト云フモノハ、大ナル論デアルガ、如何ナルコトヲ言ハルノデアルカ、是ハモウ少シ具體的ニ伺ヒタイノデアル、ト云フノハ今日ハ思想上過渡期デアリマスガ故ニ、能ク政府ノ方デ淳風美俗ト言ハレルガ、或人ハ惡風汚俗ノヤウニ見テ居ル人ガアルノデアリマス、又牽強固陋ノヤウニ見テ居ル人モアルノデアリマス、如何ナルモノ淳風美俗ト御考ヘニナッテ居ルカ、ソニ等ノ事ヲ是ハ議論ノ盡キヌ話デアリマスガ、相當ナ詳シサニ於テ、御願ヲ致シタノデアリマス、例ヘバアノ第二百五十九條ヲ見マスト、是ガ矢張政府ノ淳風美俗ノ思想カトモ思フノデアリマス「祖父母又ハ父母ニ對シテハ告訴ヲ爲スコトヲ得ス」論語ニハ子ハ親ノ爲ニ隠シ、親ハ子ノ爲ニ隠ス、直キコト其中ニ在リ、是ハ支那ノ淳風美俗デ、支那ノ國ノ風俗ハ孝カ大事デアル、忠君愛國ガ大事デアリマス、殊ニ又我國ノ父母ト云フモノハ、モウ少シ考ベキコトハ、茲ニ養女ト云フモノガアリマス、藝娼妓ナドハ他人ノ女ヲ養ニスル、之ニ對シテ猥亵トカ怪シカラヌ事ヲスル場合デモ、父母ノスルコトデアルカラ、告訴ガ出來ヌト云フノガ、惡風汚俗トシテ之ヨリ甚シキコトハアルマイト思フ、斯様ナ事ヲ考ヘニ置イテ、此規定ヲサレタカドウカ、又二百六十四條ヲ見マス、姦通ノ告訴デアリマス、姦通ハ離婚ノ上デナレバ提起スルコトハ出來ヌ、姦通ナドスル者ハ、即座ニ放リ出スト云フノガ、吾々ノ見解デアリマスガ、ボツト離婚手續ヲシテ、ソレカラ告訴ヲシナイトナラスト云フノハ、姦通獎勵法ノヤウニナルト、私共ハ考ヘルノデアリマスガ、政府ハ徹底的ニ如何ナルコトヲ以テ淳風美俗ト大キナル美名ヲ掲ゲラレテ居ルカ、其根本精神ヲ質問致ス次第デアリマス、本案全體ノ審議ニ付テ、非常ニ参考トナラウト思ヒマス  
○林政府委員 只今ノ御質問ハ、非常ニ大キナ事柄デアルテ、一寸御答ヲスルノニ甚ダ困難デアリマスガ、要スルニ支那ノ淳風美俗デナイト云フコトハ疑ナイ、無論日本ノ淳風美俗デアルカト云フ無イカラ、家ヲ建増ヲスルコトモ必要デアル、此刑事訴訟法ニ付キマシテハ、之ヲ急ニ本年ヨリ實施スルト云フコトニナレバ、茲ニ豫算ヲ出サナケレバナラヌ、當局ニ於テハ今其

コトハ、是ハ矢張相當ニ判断シナケレバナラヌト思フ、要スル此立案ヲ致シマシタ次第デアリマス、二百五十九條ナドモ、無論其淳風美俗ノ一例デアルト云フコトハ、疑ナイノデアリマス、ソニ付テ今御話ニナタ藝者ノ養女云々ト云フコト云ナタト云フト、サウデハナイ、子ガ親ヲ訴ヘルト云フコトハ淳風美俗ニ反スルカラ、ヤル譯ニ行カヌ、併ナガラ養女ノ實親ナリ、兄弟ナリガ、養女ノ爲ニ訴追ヲ求ムル方法ヲ執ルト云淳良ノ風俗ニ反スル、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ姦通ノ訴追ヲ爲スコトヲ得ス「論語ニハ子ハ親ノ爲ニ隠シ、親ハ子ノ爲ニ隠ス、直キコト其中ニ在リ、是ハ支那ノ淳風美俗デ、支那ノ國ノ風俗ハ孝カ大事デアル、忠君愛國ガ大事デアリマス」、日本ノ淳風美俗ハ、矢張忠君即チ國家ニ身ヲ捧ゲルトハ論語通リノ支那ノ道徳ヲ以テ斯様ナ規定ヲサル、ノアアルカ、殊ニ又我國ノ父母ト云フモノハ、モウ少シ考ベキコトハ、茲ニ養女ト云フモノガアリマス、藝娼妓ナドハ他人ノ女ヲ養ニスル、之ニ對シテ猥亵トカ怪シカラヌ事ヲスル場合デモ、父母ノスルコトデアルカラ、告訴ガ出來ヌト云フノガ、惡風汚俗トシテ之ヨリ甚シキコトハアルマイト思フ、斯様ナ事ヲ考ヘニ置イテ、此規定ヲサレタカドウカ、又二百六十四條ヲ見マス、姦通ノ告訴デアリマス、姦通ハ離婚ノ上デナレバ提起スルコトハ出來ヌ、姦通ナドスル者ハ、即座ニ放リ出スト云フノガ、吾々ノ見解デアリマスガ、ボツト離婚手續ヲシテ、ソレカラ告訴ヲシナイトナラスト云フノハ、姦通獎勵法ノヤウニナルト、私共ハ考ヘルノデアリマスガ、政府ハ徹底的ニ如何ナルコトヲ以テ淳風美俗ト大キナル美名ヲ掲ゲラレテ居ルカ、其根本精神ヲ質問致ス次第デアリマス、本案全體ノ審議ニ付テ、非常ニ参考トナラウト思ヒマス  
○林政府委員 只今ノ御質問ハ、非常ニ大キナ事柄デアルテ、一寸御答ヲスルノニ甚ダ困難デアリマスガ、要スルニ支那ノ淳風美俗デナイト云フコトハ疑ナイ、無論日本ノ淳風美俗デアルカト云フ無イカラ、家ヲ建増ヲスルコトモ必要デアル、此刑事訴訟法ニ付キマシテハ、之ヲ急ニ本年ヨリ實施スルト云フコトニナレバ、茲ニ豫算ヲ出サナケレバナラヌ、當局ニ於テハ今其

コトハ、是ハ矢張相當ニ判断シナケレバナラヌト思フ、要スル此立案ヲ致シマシタ次第デアリマス、二百五十九條ナドモ、無論其淳風美俗ノ一例デアルト云フコトハ、疑ナイノデアリマス、ソニ付テ今御話ニナタ藝者ノ養女云々ト云フコト云ナタト云フト、サウデハナイ、子ガ親ヲ訴ヘルト云フコトハ淳風美俗ニ反スルカラ、ヤル譯ニ行カヌ、併ナガラ養女ノ實親ナリ、兄弟ナリガ、養女ノ爲ニ訴追ヲ求ムル方法ヲ執ルト云淳良ノ風俗ニ反スル、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ姦通ノ訴追ヲ爲スコトヲ得ス「論語ニハ子ハ親ノ爲ニ隠シ、親ハ子ノ爲ニ隠ス、直キコト其中ニ在リ、是ハ支那ノ淳風美俗デ、支那ノ國ノ風俗ハ孝カ大事デアル、忠君愛國ガ大事デアリマス」、日本ノ淳風美俗ハ、矢張忠君即チ國家ニ身ヲ捧ゲルトハ論語通リノ支那ノ道徳ヲ以テ斯様ナ規定ヲサル、ノアアルカ、殊ニ又我國ノ父母ト云フモノハ、モウ少シ考ベキコトハ、茲ニ養女ト云フモノガアリマス、藝娼妓ナドハ他人ノ女ヲ養ニスル、之ニ對シテ猥亵トカ怪シカラヌ事ヲスル場合デモ、父母ノスルコトデアルカラ、告訴ガ出來ヌト云フノガ、惡風汚俗トシテ之ヨリ甚シキコトハアルマイト思フ、斯様ナ事ヲ考ヘニ置イテ、此規定ヲサレタカドウカ、又二百六十四條ヲ見マス、姦通ノ告訴デアリマス、姦通ハ離婚ノ上デナレバ提起スルコトハ出來ヌ、姦通ナドスル者ハ、即座ニ放リ出スト云フノガ、吾々ノ見解デアリマスガ、ボツト離婚手續ヲシテ、ソレカラ告訴ヲシナイトナラスト云フノハ、姦通獎勵法ノヤウニナルト、私共ハ考ヘルノデアリマスガ、政府ハ徹底的ニ如何ナルコトヲ以テ淳風美俗ト大キナル美名ヲ掲ゲラレテ居ルカ、其根本精神ヲ質問致ス次第デアリマス、本案全體ノ審議ニ付テ、非常ニ参考トナラウト思ヒマス  
○林政府委員 只今ノ御質問ハ、非常ニ大キナ事柄デアルテ、一寸御答ヲスルノニ甚ダ困難デアリマスガ、要スルニ支那ノ淳風美俗デナイト云フコトハ疑ナイ、無論日本ノ淳風美俗デアルカト云フ無イカラ、家ヲ建増ヲスルコトモ必要デアル、此刑事訴訟法ニ付キマシテハ、之ヲ急ニ本年ヨリ實施スルト云フコトニナレバ、茲ニ豫算ヲ出サナケレバナラヌ、當局ニ於テハ今其

人ノ人トナリ、若クバ事案ニ付テノ動機ナドニ付キマシテ、ノデゴザイマス、然ルニ其請願令ガ出でスト同時ニ、裁判事務ニ關係スル請願ハ之ヲ許サナイノデアルト致シテ、無論記録ニ添付セラレザルノミナラズ、中ニハ送り來タル者ニ向テ返送セラル、モノモアリ、若クハ直ニ沒書ニ致シテシマフモ競請願ハ政府ニ向テスルノデアルテ、政府ニ向テ司法事務ノ事ニ付テ請願ヲスルト云フコトハ宜シキヲ得ナイト云フノデ、アノ條文ガ現レタノデアルカラ、裁判所ニ向テ左様ナ種類ノ書面ヲ出スト云フコトハ何等妨ダグナイト云フノデ、某裁判所ノ如キハ之ヲ御受理ニナシテ居ルト云フコトモ承テ居ルノデゴザイマス、此疑問ヲ起シマス所以ノモノハ、此度御出シニナリシタ刑事訴訟法ニハ、御説明ノ中ニモゴザイマスガ、詰リ此裁判所ニ於テ採用セラルベキ證據ト云フモノハ法令ニ依テ極ツタ範囲ノモノダケノモノデアル、但シ或場合ニ於テ例外ナルモノガアル是ハ例外ナルモノガ何處カ定メテアッタヤウデス、即チ三百四十五條デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラ出シマシタ書面ヲ、直ニ證據トシテ御採用ニナルコトハ出來レテアルノデゴザイマスルガ、此場合ニ於テ勿論只今申シタヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラアリマスガ、此本案ノ法制ノ趣意ハ斯様ナモノマデモ尙ホ排斥ヲシテ記録ナドニハ綴ラナイト云フ意味ニナシテ居ルノデゴザイマスカ之ヲ序ニ承テ置キマス〇山内政府委員 私ハ陪審案ノ事ニ付テ一言御答ヲ致シテ置キマシテ、其他解釋ノ專門ニ瓦ル事項ハ他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマス、陪審法ヲ撤回シタ、ソレハ刑事訴訟法ト合セル爲デアルト言ヒマシタガ、合セルト言ジテモ簡単ナ問題デ、其時ニ申シマシタヤウニ實質ニ何等關係ガナインデアリマス、或ハ現行刑事訴訟法ノ條文ヲ引張タモノモアリ、ソレカラ文字ガアル、例ヘバ此案ハ呼出狀ト云ハズ、召喚狀ト云フトカ、或ハ例ヘバ「可シ」トカ何トカ云フ文字ハ斯ナン文字ヲ使フト云フヤウナ大關係デ、唯形式上ダケノ問題デアッタノデゴザイマス、固ヨリ案ノ實質ニハ毫モ關係ハナイ事デアッタノデアリマス、而シテ此刑事訴訟法案ニ文字ヲ合

セ條文ヲ合セタ以上ハ、實質ノ動力ガ爾モノデアリマスカラ、刑事訴訟法案ト陪審法案ハ能ク調和シア居ルノデアリマス、其關係ノ爲ニ此案ヲ改メ、或ハ向フノ案ヲ改メルト云フ實況デアルノデゴザイマス、間ク所ニ依リマスレバ東京邊リテハ左様ナモノハ請願令ノ範圍ニハ入ラナイモノデアル、畢竟請願ハ政府ニ向テスルノデアルテ、政府ニ向テ司法事務ノ事ニ付テ請願ヲスルト云フコトハ宜シキヲ得ナイト云フノデ、アノ條文ガ現レタノデアルカラ、裁判所ニ向テ左様ナ種類ノ書面ヲ出スト云フコトハ何等妨ダグナイト云フノデ、某裁判所ノ如キハ之ヲ御受理ニナシテ居ルト云フコトモ承テ居ルノデゴザイマス、此疑問ヲ起シマス所以ノモノハ、此度御出シニナリシタ刑事訴訟法ニハ、御説明ノ中ニモゴザイマスガ、詰リ此裁判所ニ於テ採用セラルベキ證據ト云フモノハ法令ニ依テ極ツタ範囲ノモノダケノモノデアル、但シ或場合ニ於テ例外ナルモノガアル是ハ例外ナルモノガ何處カ定メテアッタヤウデス、即チ三百四十五條デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラ出シマシタ書面ヲ、直ニ證據トシテ御採用ニナルコトハ出來レテアルノデゴザイマスルガ、此場合ニ於テ勿論只今申シタヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラアリマスガ、此本案ノ法制ノ趣意ハ斯様ナモノマデモ尙ホ排斥ヲシテ記録ナドニハ綴ラナイト云フ意味ニナシテ居ルノデゴザイマスカ之ヲ序ニ承テ置キマス〇山内政府委員 私ハ陪審案ノ事ニ付テ一言御答ヲ致シテ置キマシテ、其他解釋ノ專門ニ瓦ル事項ハ他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマス、陪審法ヲ撤回シタ、ソレハ刑事訴訟法ト合セル爲デアルト言ヒマシタガ、合セルト言ジテモ簡単ナ問題デ、其時ニ申シマシタヤウニ實質ニ何等關係ガナインデアリマス、或ハ現行刑事訴訟法ノ條文ヲ引張タモノモアリ、ソレカラ文字ガアル、例ヘバ此案ハ呼出狀ト云ハズ、召喚狀ト云フトカ、或ハ例ヘバ「可シ」トカ何トカ云フ文字ハ斯ナン文字ヲ使フト云フヤウナ大關係デ、唯形式上ダケノ問題デアッタノデゴザイマス、固ヨリ案ノ實質ニハ毫モ關係ハナイ事デアッタノデアリマス、而シテ此刑事訴訟法案ニ文字ヲ合

セ條文ヲ合セタ以上ハ、實質ノ動力ガ爾モノデアリマスカラ、刑事訴訟法案ト陪審法案ハ能ク調和シア居ルノデアリマス、其關係ノ爲ニ此案ヲ改メ、或ハ向フノ案ヲ改メルト云フ實況デアルノデゴザイマス、間ク所ニ依リマスレバ東京邊リテハ左様ナモノハ請願令ノ範圍ニハ入ラナイモノデアル、畢竟請願ハ政府ニ向テスルノデアルテ、政府ニ向テ司法事務ノ事ニ付テ請願ヲスルト云フコトハ宜シキヲ得ナイト云フノデ、アノ條文ガ現レタノデアルカラ、裁判所ニ向テ左様ナ種類ノ書面ヲ出スト云フコトハ何等妨ダグナイト云フノデ、某裁判所ノ如キハ之ヲ御受理ニナシテ居ルト云フコトモ承テ居ルノデゴザイマス、此疑問ヲ起シマス所以ノモノハ、此度御出シニナリシタ刑事訴訟法ニハ、御説明ノ中ニモゴザイマスガ、詰リ此裁判所ニ於テ採用セラルベキ證據ト云フモノハ法令ニ依テ極ツタ範囲ノモノダケノモノデアル、但シ或場合ニ於テ例外ナルモノガアル是ハ例外ナルモノガ何處カ定メテアッタヤウデス、即チ三百四十五條デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラ出シマシタ書面ヲ、直ニ證據トシテ御採用ニナルコトハ出來レテアルノデゴザイマスルガ、此場合ニ於テ勿論只今申シタヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラアリマスガ、此本案ノ法制ノ趣意ハ斯様ナモノマデモ尙ホ排斥ヲシテ記録ナドニハ綴ラナイト云フ意味ニナシテ居ルノデゴザイマスカ之ヲ序ニ承テ置キマス〇山内政府委員 私ハ陪審案ノ事ニ付テ一言御答ヲ致シテ置キマシテ、其他解釋ノ專門ニ瓦ル事項ハ他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマス、陪審法ヲ撤回シタ、ソレハ刑事訴訟法ト合セル爲デアルト言ヒマシタガ、合セルト言ジテモ簡単ナ問題デ、其時ニ申シマシタヤウニ實質ニ何等關係ガナインデアリマス、或ハ現行刑事訴訟法ノ條文ヲ引張タモノモアリ、ソレカラ文字ガアル、例ヘバ此案ハ呼出狀ト云ハズ、召喚狀ト云フトカ、或ハ例ヘバ「可シ」トカ何トカ云フ文字ハ斯ナン文字ヲ使フト云フヤウナ大關係デ、唯形式上ダケノ問題デアッタノデゴザイマス、固ヨリ案ノ實質ニハ毫モ關係ハナイ事デアッタノデアリマス、而シテ此刑事訴訟法案ニ文字ヲ合

セ條文ヲ合セタ以上ハ、實質ノ動力ガ爾モノデアリマスカラ、刑事訴訟法案ト陪審法案ハ能ク調和シア居ルノデアリマス、其關係ノ爲ニ此案ヲ改メ、或ハ向フノ案ヲ改メルト云フ實況デアルノデゴザイマス、間ク所ニ依リマスレバ東京邊リテハ左様ナモノハ請願令ノ範圍ニハ入ラナイモノデアル、畢竟請願ハ政府ニ向テスルノデアルテ、政府ニ向テ司法事務ノ事ニ付テ請願ヲスルト云フコトハ宜シキヲ得ナイト云フノデ、アノ條文ガ現レタノデアルカラ、裁判所ニ向テ左様ナ種類ノ書面ヲ出スト云フコトハ何等妨ダグナイト云フノデ、某裁判所ノ如キハ之ヲ御受理ニナシテ居ルト云フコトモ承テ居ルノデゴザイマス、此疑問ヲ起シマス所以ノモノハ、此度御出シニナリシタ刑事訴訟法ニハ、御説明ノ中ニモゴザイマスガ、詰リ此裁判所ニ於テ採用セラルベキ證據ト云フモノハ法令ニ依テ極ツタ範囲ノモノダケノモノデアル、但シ或場合ニ於テ例外ナルモノガアル是ハ例外ナルモノガ何處カ定メテアッタヤウデス、即チ三百四十五條デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラ出シマシタ書面ヲ、直ニ證據トシテ御採用ニナルコトハ出來レテアルノデゴザイマスルガ、此場合ニ於テ勿論只今申シタヤウナ始末書、上申書、歎願書等ノ、今申シマシタ人々カラアリマスガ、此本案ノ法制ノ趣意ハ斯様ナモノマデモ尙ホ排斥ヲシテ記録ナドニハ綴ラナイト云フ意味ニナシテ居ルノデゴザイマスカ之ヲ序ニ承テ置キマス〇山内政府委員 私ハ陪審案ノ事ニ付テ一言御答ヲ致シテ置キマシテ、其他解釋ノ專門ニ瓦ル事項ハ他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマス、陪審法ヲ撤回シタ、ソレハ刑事訴訟法ト合セル爲デアルト言ヒマシタガ、合セルト言ジテモ簡単ナ問題デ、其時ニ申シマシタヤウニ實質ニ何等關係ガナインデアリマス、或ハ現行刑事訴訟法ノ條文ヲ引張タモノモアリ、ソレカラ文字ガアル、例ヘバ此案ハ呼出狀ト云ハズ、召喚狀ト云フトカ、或ハ例ヘバ「可シ」トカ何トカ云フ文字ハ斯ナン文字ヲ使フト云フヤウナ大關係デ、唯形式上ダケノ問題デアッタノデゴザイマス、固ヨリ案ノ實質ニハ毫モ關係ハナイ事デアッタノデアリマス、而シテ此刑事訴訟法案ニ文字ヲ合

ニ何等妨ガナイト云フコトハ拜承致シタノデアリマス、極ク手近イ所ノ例ヲ舉ゲテ見マスルト云フト、一昨年ノ五月ニ廣島市ニ於テ行ハレマシタ選舉ノ際ニ於テ、隨分行政方面ニ於ケル壓迫干渉ハ猛烈ヲ極メマシテ、人ノ口ヲ藉シテ申シマスレバ、殆ド無警察無政府ノ状態ニアタト云フコトデアルノデアリマス、明日ハ選舉ト云フ際ニ於テ、早速代議士ニ向シテ選舉違反事件ナルモノ、起訴ヲセラレタノデゴザイマス、退イテ人ノ申ス所フ聞キマスルト、是ハ上司ノ命令アリタ、斯ウ云フコトデアル、其事件ハ豫審ニ於テ有罪ノ終結ヲ致シ一審裁判所ニ於テ證憑不十分ト致シテ、無罪ノ宣告ヲ受ケタノデゴザリマス、是ハ即チ起訴ノ方面デゴザイマス、ソレカラ不起訴ノ方面カラ申シマスルト、津下事件ナドニ付テ現ニ某政黨ノ某々代議士ガ、或ル事項ニ御關係ニナシタト云フコトモ公ノ文書ト云フヨリモ、寧ロ公判ヲセラレタ文書ノ上ニ書載セラレタ人モゴザイマスガ、ソレヨリ私ガ他ノ人カラ承リマシタ關係ニ於テハ、今尙ホ廣島地方裁判所ノ懸案トナシテ居リマスル某代議士ノ事件アリマス、是ハ會社ノ關係デゴザイマスガ、某代議士ノ關係セラレタ分デアリ、未ダ頭ヲ擡ゲナイモノガ一ツアル、ソレハ寶塚トカニ在ル土地會社ノ問題デアル、其土地會社ノ問題ニ付テハ、何デモ千万圓トカニ三千萬圓トカノ事件デアリ、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居真ニ納メラレタノモハ百万圓許リ、而シテ其百万圓ノ金モ今ハ何處ニ行ッタカ分ラナイ、斯ウ云フ關係ニ在シテ、其會社ノ社長ハ某政黨ノ某代議士デアル、其取締役ハ某政黨ノ某代議士デアル、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居リマス、今シハ某貴族院議員ガ關係セラレタ廣島市ノ天満川埋立ノ問題、是モドウヤラ内實御調ガアタヤウアリマシタガ、ドウ云フ譯カ遂ニ頭ヲ擡ケシテ、聞カラ聞ニ尋ラレタ傾ガアリマス、是等ノ如キハ恐ラクハ適當ノ御處置ヲ爲サシタモノデハゴザイマセウレドモ、今日世ノ中ノ傳フル所ニ依レバ、一體此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ傾イテ居ル、貴於院ノ如キモ亦政黨化シテ居ル、獨リ頼ミトナルベキモノハ司直ノ府一アルニデアル、斯ウ云フ聲ガ頻ニ吾ヒノ耳ヲモ襲ウテ參リマスノデアリマスルガ、此時ニ當テ斯ノ如キ問題ガ頻々トシテ起シテ、而モソレニハ身分アル御方ガ御關係ニナシテ居ル、成程今日御出シニナリマシタ刑事訴訟法ノ趣意カラ申セバ、身分アル方ト雖モ、總テノ事情ニ依レバ、此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ依レバ、私ナドノ住居致シテ居ル廣島ノ控訴院管内アヘ岩国ト致シマシテ、感化院モ在ルシ、矯正院モ在ルノデアリマスガ、少年ノ犯罪ニ付テ御收容ナサルト云フノハ、聞ク所ニ訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウニテハ、所謂手加減ト申シマスレバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、凡ソ起訴ヲ爲ガル爲サラスト云フ上ニ於テノ主義方針ナルモノハ、定シテ居ルカノ如ク考ヘルノデアリマス、中ニハ證據ノ少イノモゴザイマセウガ、證據ガ有テモ尙且シ

○山内政府委員 大分具體的ノ事件ヲ掲ゲテノ御質問デアリマスガ、具體的ノ捜査ノ關係起訴ノ關係ニ付テハ御答ヲ避ケマス、而シテ此起訴不起訴ノ方針ガ、特ニ當局ニト云フコトニ付テ居リマスル某代議士ノ事件ガソレヨリ私ガ他ノ人カラ承リマシタ關係ニ於テハ、今尙ホ廣島地方裁判所ノ懸案トナシテ居リマスル某代議士ノ事件アリマス、是ハ會社ノ關係デゴザイマスガ、某代議士ノ關係セラレタ分デアリ、未ダ頭ヲ擡ゲナイモノガ一ツアル、ソレハ寶塚トカニ在ル土地會社ノ問題デアル、其土地會社ノ問題ニ付テハ、何デモ千万圓トカニ三千萬圓トカノ事件デアリ、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居真ニ納メラレタノモハ百万圓許リ、而シテ其百万圓ノ金モ今ハ何處ニ行ッタカ分ラナイ、斯ウ云フ關係ニ在シテ、其會社ノ社長ハ某政黨ノ某代議士デアル、其取締役ハ某政黨ノ某代議士デアル、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居リマス、今シハ某貴族院議員ガ關係セラレタ廣島市ノ天満川埋立ノ問題、是モドウヤラ内實御調ガアタヤウアリマシタガ、ドウ云フ譯カ遂ニ頭ヲ擡ケシテ、聞カラ聞ニ尋ラレタ傾ガアリマス、是等ノ如キハ恐ラクハ適當ノ御處置ヲ爲サシタモノデハゴザイマセウレドモ、今日世ノ中ノ傳フル所ニ依レバ、一體此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ傾イテ居ル、貴於院ノ如キモ亦政黨化シテ居ル、獨リ頼ミトナルベキモノハ司直ノ府一アルニデアル、斯ウ云フ聲ガ頻ニ吾ヒノ耳ヲモ襲ウテ參リマスノデアリマスルガ、此時ニ當テ斯ノ如キ問題ガ頻々トシテ起シテ、而モソレニハ身分アル御方ガ御關係ニナシテ居ル、成程今日御出シニナリマシタ刑事訴訟法ノ趣意カラ申セバ、身分アル方ト雖モ、總テノ事情ニ依レバ、此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ依レバ、私ナドノ住居致シテ居ル廣島ノ控訴院管内アヘ岩国ト致シマシテ、感化院モ在ルシ、矯正院モ在ルノデアリマスガ、少年ノ犯罪ニ付テ御收容ナサルト云フノハ、聞ク所ニ訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウニテハ、所謂手加減ト申シマスレバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、凡ソ起訴ヲ爲ガル爲サラスト云フ上ニ於テノ主義方針ナルモノハ、定シテ居ルカノ如ク考ヘルノデアリマス、中ニハ證據ノ少イノモゴザイマセウガ、證據ガ有テモ尙且シ

○山内政府委員 大分具體的ノ事件ヲ掲ゲテノ御質問デアリマスガ、具體的ノ捜査ノ關係起訴ノ關係ニ付テハ御答ヲ避ケマス、而シテ此起訴不起訴ノ方針ガ、特ニ當局ニト云フコトニ付テ居リマスル某代議士ノ事件ガソレヨリ私ガ他ノ人カラ承リマシタ關係ニ於テハ、今尙ホ廣島地方裁判所ノ懸案トナシテ居リマスル某代議士ノ事件アリマス、是ハ會社ノ關係デゴザイマスガ、某代議士ノ關係セラレタ分デアリ、未ダ頭ヲ擡ゲナイモノガ一ツアル、ソレハ寶塚トカニ在ル土地會社ノ問題デアル、其土地會社ノ問題ニ付テハ、何デモ千万圓トカニ三千萬圓トカノ事件デアリ、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居真ニ納メラレタノモハ百万圓許リ、而シテ其百万圓ノ金モ今ハ何處ニ行ッタカ分ラナイ、斯ウ云フ關係ニ在シテ、其會社ノ社長ハ某政黨ノ某代議士デアル、其取締役ハ某政黨ノ某代議士デアル、斯ウ云フノガアルト云フコトヲ耳ニシテ居リマス、今シハ某貴族院議員ガ關係セラレタ廣島市ノ天満川埋立ノ問題、是モドウヤラ内實御調ガアタヤウアリマシタガ、ドウ云フ譯カ遂ニ頭ヲ擡ケシテ、聞カラ聞ニ尋ラレタ傾ガアリマス、是等ノ如キハ恐ラクハ適當ノ御處置ヲ爲サシタモノデハゴザイマセウレドモ、今日世ノ中ノ傳フル所ニ依レバ、一體此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ傾イテ居ル、貴於院ノ如キモ亦政黨化シテ居ル、獨リ頼ミトナルベキモノハ司直ノ府一アルニデアル、斯ウ云フ聲ガ頻ニ吾ヒノ耳ヲモ襲ウテ參リマスノデアリマスルガ、此時ニ當テ斯ノ如キ問題ガ頻々トシテ起シテ、而モソレニハ身分アル御方ガ御關係ニナシテ居ル、成程今日御出シニナリマシタ刑事訴訟法ノ趣意カラ申セバ、身分アル方ト雖モ、總テノ事情ニ依レバ、此衆議院モ、總テノ政治ノ遣方ガ黨派のニ依レバ、私ナドノ住居致シテ居ル廣島ノ控訴院管内アヘ岩国ト致シマシテ、感化院モ在ルシ、矯正院モ在ルノデアリマスガ、少年ノ犯罪ニ付テ御收容ナサルト云フノハ、聞ク所ニ訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウニテハ、所謂手加減ト申シマスレバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、凡ソ起訴ヲ爲ガル爲サラスト云フ上ニ於テノ主義方針ナルモノハ、定シテ居ルカノ如ク考ヘルノデアリマス、中ニハ證據ノ少イノモゴザイマセウガ、證據ガ有テモ尙且シ

○作間委員 モウ一點ダク御許ヲ願ヒタイ、ソレハ豫審記録ノ公開問題デアリマシタが、此點ニ付キマシテハ、豫算委員會等ニ於キマシテモ、政治上ニ御意見ヲ交ヘラマシタ政府ノ書イテアル通り、諸般ノ事情ヲ見て、起訴スルコトヲ不當トスルモノハ起訴シナシ、起訴スルコトヲ至當トスルモノハ起訴スル、斯ウ云フコトヲ御答スルノ外ハナイ

○林政府委員 横山君カラ近來起訴ヲ制限スルコトガ多イト云フ御話デアリマシタが、起訴ノ制限ト仰シャルノハ、起訴猶豫ノ事ヲ言ハレタノデアラウト思ヒマスガ、此起訴猶豫ト云フ事ハ、正確ニ其時期ヲ責任ヲ持テ申上げ兼ネマスガ、明治三十二年來、司法省デ行ヒ來タ方針デアリマス、ソコデ近來ニ非常ニ多イト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク事實ニ反スルヤウデアリマス、一寸二三年ノ所ヲ申シマスト、大正六年ニハ檢事局ニ於ケル起訴猶豫數が七万九千三百七十三件、大正七年ガ八万七千百十七件、大正八年ガ八万六千五百十九件、大正九年ガ八万四千四百四十七件ト云フコトニ付テ居リマス、是ハマア其年ニ起シタ事件が種々ノ事情ニ依テ違フコトデアリマスカラ、一定ノ標準デ律スルコトノ出來ヌハ勿論デアリマスガ、大體ニ於テ近年特ニ起訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウデアリマス、其點ダク申上げ置キマス

○横山委員 序ニ御尋シテ置キマス、此少年法實施ノ結果ト致シマシテ、感化院モ在ルシ、矯正院モ在ルノデアリマスガ、少年ノ犯罪ニ付テ御收容ナサルト云フノハ、聞ク所ニ訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウデアリマス、是ハマア其年ニ起シタ事件が種々ノ事情ニ依テ違フコトデアリマスカラ、一定ノ標準デ律スルコトノ出來ヌハ勿論デアリマスガ、大體ニ於テ近年特ニ起訴猶豫ノ殖エタト云フコトハ、統計ノ上デハ全ク無イヤウデアリマス、其點ダク申上げ置キマス

○作間委員 モウ一點ダク御許ヲ願ヒタイ、ソレハ豫審記録ノ公開問題デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、豫算委員會等ニ於キマシテモ、政治上ニ御意見ヲ交ヘラマシタ政府ノ書イテアル通り、諸般ノ事情ヲ見て、起訴スルコトヲ不當トスルモノハ起訴シナシ、起訴スルコトヲ至當トスルモノハ起訴スル、斯ウ云フコトヲ御答スルノ外ハナイ

○鵜澤委員長 モウ三時ニ近イデスカラ、今日ハ是ダケニシテ……



問ヲ求メタ人ガマシテ、其爲ニ夜間訊問ヲシタ例ダアル、是ス  
ラ非難ノ聲ガ多イガ故ニ、現在ニ於テ避ケルコトニナシテ居  
ル、勿論必要ナラザル夜間訊問ハ、將來ニ於キマシテ決シテ  
ヤラシムル考ハナイノデアリマス、ソレカラ場所ニ付キマシテ

ハ、矢張ソレ相當ノ場所ガ裁判所ニモアリマス、檢事局ニセ  
アリマス、宿直室ノ中ト言ハル、ケレドモ、檢事訊問所ト云

フモノガアリマス、ソレデ又人ヲ區別スルト云フ、話ガアリマシ  
タケレドモ、是モ現在困ッタコトニハ、裁判所ニ這入ルト云フ

コトニナルト、何ダク新聞ガ直ニ書立テル、ソコデ民事事件

ニ於キマシテ、辯護士ガ裁判所ニ這入ッテ行テスラ書クト

云フヤウナ惡ル事ガ出來ア、其爲ニ成ベク裁判所デ調ヘ

ラレタト云フ形ヲ隠シテ貰ヒタイト云フヤウナ意味ニ於キマ

シテ、其嘆願ノ爲ニ當局トシテ特別ニ取扱ダ、身分ガ好イ

カラ座敷ニ上ゲル、身分ガ惡イ者ハ勝手ニ訊問スルト云フ

區別ハ毛頭致シテ居ナイ、成ベク穩カニ私ノ所謂柔カニ、而

シテ物議ノ起ラヌヤウニ努メテ居リマス、而シテ物議ノ起ル

ノハ遺憾トスル所デアリマス、當局ノ注意ヲ致シテ居ルコト

ハ能ク御諒承ヲ願ヒマス

○作問委員 豫審決定ガ出來上リマシテ、公判ニ移サレ  
マシタ以上ハ、事件ガ即チ公開ノ地位ニ——開放ノ地位ニ  
置カレマシタノデ、書類ハ無論當然之ニ件フベキモノデアル  
ト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、傍聴モ自由ニ出來  
誰デモ其事件ノ内容ヲ聽イテ宜イ、聽カシテ差支ナシ、又聽

カスペキモノダト云フコトニ相成シテ居リマス以上ハ、豫審決

定後ハ事件ヲ開放セラル、ト云フコトハ、公判公開ノ趣旨

ニモ適シ、又審理上、捜査上少シモ差支ノ無イ事デアリマシ

テ、且ツ其上ニ世人ヲシテ、一般警戒ノ途ヲ與ヘルコトニ相

成リハシマイカ、即チ概シテ申シマスレバ、益以シテ害無シト

云フコトニ歸著致シハシナイカト思フノデアリマスカ、其點ニ

付キマシテハ、今一應司法當局ノ御考慮ヲ願シテ置キタイモ

ノト思ヒマス

○山内政府委員 御考慮ト云フコトニナラバ、御答スル必

要ガアリマセヌガ、併ナガラ傍聴ヲサス、隨テ記錄ヲ公見ヲサ  
セルコトニハナラヌ、判事ガ公開シテ裁判ヲシタ裁判官ホド、

其事件ノ内容ヲ知シテ居ル者ハ無イ、ソレガ外ニ行シテ、彼奴

ガコンナ事ヲシタ、姦通ヲ三度モシタ、斯ウ云フ事ヲ言シテハ

ナラヌ、事件ノ内容ニ付テ、公開ノ席ニ於テ取調ベルノハ判

事ノ責任ノ關係カラヤル、傍聴セシムルノハ謂ハバ或ル意味

ニ於ケル陪審デアリマス、國民ノ前ニ於テ裁判ヲスル、其監

督ヲ受ケルト云フ意味ガアル、併ナガラ公判ヲ傍聴サセルガ  
故ニ、公判書類ヲ見セル、傍聴ノ權利ガアル者ニハ、傍見ノ權利

ガアルト云フ風ニハ私ハ考ヘテ居ナイ

○鶴澤委員長 今日ハ是デ止メマシテ、次會ハ十三日午  
前十時ヨリ開キマス、ソレデハ散會シマス

午後二時十二分散會

大正十一年二月十三日印刷

大正十一年二月十四日發行

參議院事務局

印刷者 印刷局